

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名      安来電線共同溝PFI事業（1工区）

国土交通省 中国地方整備局  
松江国道事務所 管理第二課

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （当 初）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝 （上り線 1工区）		式		1		
仮設工		式		1		
路面覆工		式		1		
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1		
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1		
土留・仮締切工		式		1		
固結工		式		1		
水路補強工		式		1		
交通管理工		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破碎工		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻運搬 （夜間）	アスファルト殻	m3		56		
殻処分 （夜間）	アスファルト殻	m3		56		
舗装版切断 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm以下	m		980		
舗装版切断 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm超30cm以下	m		290		
舗装版破砕 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm超35cm以下	m2		690		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削 （夜間）		式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （当 初）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
残土処理工		式		1		
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		496		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		488		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		540		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		149		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		121		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150mm	m		126		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250mm	m		116		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		319		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		351		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		388		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		133		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		77		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		69		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		77		
管路管台 （夜間）	HIVP管用 φ125-250P	個		1,708		
管路管台 （夜間）	HIVP管用 φ100-150P	個		1,765		
管路管台 （夜間）	PV管用 φ75-130P	個		1,029		
管路管台 （夜間）	PV管用 φ50-95P	個		247		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ100-150P	個		131		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
管路管台 （夜間）	VP管用 φ150-220P	個		126		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ250-350P	個		187		
中間継手 （夜間）	HIVP φ125用	個		16		
中間継手 （夜間）	HIVP φ100用	個		23		
中間継手 （夜間）	PV φ75用	個		26		
中間継手 （夜間）	PV φ50用	個		11		
中間継手 （夜間）	VP φ100用	個		7		
中間継手 （夜間）	VP φ150用	個		4		
中間継手 （夜間）	VP φ250用	個		4		
鞘管固定管(起点用) （夜間）	VP管 φ250用	個		5		
鞘管固定管(終点用) （夜間）	VP管 φ250用	個		4		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設表示シート （夜間）	W=300 2倍	m		711		
敷砂 （夜間）		m3		24		
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1		
プレキャストボックス （夜間）	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		3		
プレキャストボックス （夜間）	4.5タイプ L型 内幅 1.3/2.1m 内高 1 .8m RC-40	個		1		
プレキャストボックス （夜間）	2.2タイプ 路上変圧器用 内幅 1m 内 高 1.5m RC-40	個		1		
プレキャストボックス （夜間）	3.6タイプ 路上変圧・高圧開閉器用 内 幅 1.2m 内高 1.5m RC-40	個		1		
プレキャストボックス 通信基点樹(夜間)	2.2タイプ 内幅 0.95m 内高 1.5m RC -40	個		1		
プレキャストボックス 分岐樹(夜間)	1.2タイプ 内幅 0.6m 内高 0.415m R C-40	個		2		
ヘルマウス		式		1		
情報ボックス工		式		1		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
作業土工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		131		
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		100		
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		131		
敷砂 (夜間)		m3		13		
管路防護工		式		1		
防護コンクリート (夜間)		箇所		1		
ハンドホール工		式		1		
ハンドホール (夜間)	B1000×H1000×L1500	箇所		1		
ハンドホール (夜間)	B600×H1100×L600	箇所		2		



## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （当 初）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路改良 （上り線 1工区）		式		1		
道路土工		式		1		
残土処理工		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
側溝工		式		1		
縁石管渠A1 （夜間）	φ 150	m		109		
縁石管渠B （夜間）	φ 150	m		22		
縁石管渠C （夜間）	φ 150	m		21		
縁石管渠D(L) （夜間）	φ 150	m		3		
縁石管渠D(R) （夜間）	φ 150	m		3		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
縁石管渠柵A （夜間）	φ 150	箇所		11		
縁石管渠柵B （夜間）	φ 150	箇所		2		
舗装工		式		1		
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1		
下層路盤(車道・路肩部) （夜間）	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 200m m	m2		342		
上層路盤(車道・路肩部) （夜間）	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150m m	m2		346		
上層路盤(車道・路肩部) （夜間）	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80m m	m2		346		
基層(車道・路肩部) （夜間）	再生粗粒度Asホリマ-改質 I 型(20) 舗 装厚 50mm 1.4m以上	m2		346		
排水性舗装・表層(車道・路肩部) （夜間）	ポーラスAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以 上	m2		346		
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1		
フィルター層 （夜間）	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		444		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 100m m	m2		444		
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40m m	m2		444		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1		
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		78		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150m m	m2		78		
表層 (夜間)	透水性As 1.4m以上 舗装厚 50m m	m2		78		
縁石工		式		1		
縁石工		式		1		
歩車道境界ブロック 縁石工A(夜間)	C種(180/210×300×600)	m		37		
歩車道境界ブロック 縁石工C(夜間)	B種(180/205×250×600)	m		4		
道路付属施設工		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
照明工		式		1		
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱 R-1(夜間)		基		1		
照明柱 R-2(夜間)		基		1		
標識工		式		1		
大型標識工		式		1		
標識基礎 (夜間)	片持式の基礎 4.0m3未満	基		1		
片持標識柱 (移設)(夜間)	逆L型	基		1		
標識板 (移設)(夜間)	2.0m2以上	枚		1		
構造物撤去工		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （当 初）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
構造物取壊し工		式		1		
舗装版破砕 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		870		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 （夜間）	アスファルト殻	m3		38		
殻処分 （夜間）	アスファルト殻	m3		38		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
準備費		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （当 初）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
試掘		箇所		6		
事業損失防止施設費		式		1		
事業損失防止施設費 （夜間）		式		1		
技術管理費		式		1		
道路施設基本データ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （当 初）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名      安来電線共同溝PFI事業（2工区）

国土交通省 中国地方整備局  
松江国道事務所 管理第二課



# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝 （上り線 2工区）		式		1		
仮設工		式		1		
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1		
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1		
土留・仮締切工		式		1		
交通管理工		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破碎工		式		1		
殻運搬 （夜間）	アスファルト殻	m3		56		
殻処分 （夜間）	アスファルト殻	m3		56		
舗装版切断 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm以下	m		830		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
舗装版切断 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm超30cm以下	m		340		
舗装版破砕 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm超35cm以下	m2		600		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削 （夜間）		式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	式		1		
残土処理工		式		1		
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）		（ 当 初 ）			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 （夜間）	HIVP管 直管 径 125mm	m		361		
埋設管路 （夜間）	HIVP管 直管 径 100mm	m		309		
埋設管路 （夜間）	PV管 直管 径 75mm	m		437		
埋設管路 （夜間）	PV管 直管 径 50mm	m		195		
埋設管路 （夜間）	VP管 直管 径 100mm	m		61		
埋設管路 （夜間）	VP管 直管 径 150mm	m		73		
埋設管路 （夜間）	VP管 直管 径 250mm	m		84		
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		418		
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		434		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		418		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		105		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		105		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		116		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		105		
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R6) 径 125mm	m		40		
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		72		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R6) 径 75mm	m		40		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R6) 径 50mm	m		10		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		33		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R6) 径 150mm	m		17		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R6) 径 250mm	m		10		
管路管台 （夜間）	HIVP管用 φ125-250P	個		1,919		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
管路管台 （夜間）	HIVP管用 φ100-150P	個		1,962		
管路管台 （夜間）	PV管用 φ75-130P	個		1,106		
管路管台 （夜間）	PV管用 φ50-95P	個		210		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ100-150P	個		165		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ150-220P	個		165		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ250-350P	個		204		
中間継手 （夜間）	HIVP φ125用	個		16		
中間継手 （夜間）	HIVP φ100用	個		21		
中間継手 （夜間）	PV φ75用	個		24		
中間継手 （夜間）	PV φ50用	個		15		
中間継手 （夜間）	VP φ100用	個		9		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
中間継手 （夜間）	VP φ 150用	個		4		
中間継手 （夜間）	VP φ 250用	個		2		
鞘管固定管(起点用) （夜間）	VP管 φ 250用	個		3		
鞘管固定管(終点用) （夜間）	VP管 φ 250用	個		2		
埋設表示シート （夜間）	W=300 2倍	m		743		
敷砂 （夜間）		m3		23		
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1		
プレキャストボックス （夜間）	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		1		
プレキャストボックス （夜間）	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 2.2 m RC-40	個		1		
プレキャストボックス （夜間）	4.5タイプ S型 内幅 1.35m 内高 2.2 m RC-40	個		2		
プレキャストボックス 分岐柵(夜間)	1.2タイプ 内幅 0.6m 内高 0.415m R C-40	個		5		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ベルマウス		式		1		
情報ボックス工		式		1		
作業土工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		164		
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		31		
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		164		
敷砂 (夜間)		m3		16		
管路防護工		式		1		
防護コンクリート (夜間)		箇所		1		
ハンドホール工		式		1		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ハンドホール （夜間）	B1000×H1000×L1500	箇所		1		
ハンドホール （夜間）	B600×H1100×L600	箇所		2		
道路改良 （上り線 2工区）		式		1		
道路土工		式		1		
残土処理工		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
側溝工		式		1		
縁石管渠A1 （夜間）	φ 150	m		44		
縁石管渠D(L) （夜間）	φ 150	m		0.5		
縁石管渠D(R) （夜間）	φ 150	m		0.5		



# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
縁石管渠柵A （夜間）	φ 150	箇所		2		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H600	m		78		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H800	m		13		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H900	m		36		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H1000	m		6		
管渠工		式		1		
鉄筋コンクリート台付管 （夜間）	φ 300	m		15		
舗装工		式		1		
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1		
下層路盤(車道・路肩部) （夜間）	再生クワッシュラン RC-40 仕上り厚 200m m	m2		377		
上層路盤(車道・路肩部) （夜間）	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150m m	m2		377		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）		（ 当 初 ）			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80m m	m2		377		
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asホリマ-改質I型(20) 舗 装厚 50mm 1.4m以上	m2		377		
排水性舗装・表層(車道・路肩部) (夜間)	ポーラスAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以 上	m2		377		
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1		
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		507		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 100m m	m2		507		
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40m m	m2		507		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1		
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		59		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150m m	m2		59		
表層 (夜間)	透水性As 1.4m以上 舗装厚 50m m	m2		59		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
縁石工		式		1		
縁石工		式		1		
歩車道境界ブロック 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		105		
歩車道境界ブロック 縁石工B（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		24		
歩車道境界ブロック 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		27		
歩車道境界ブロック 縁石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		7		
歩車道境界ブロック 縁石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		5		
道路付属施設工		式		1		
照明工		式		1		
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		3		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
照明柱 R-6(夜間)		基		1		
照明柱 R-7(夜間)		基		1		
照明柱 R-9(夜間)		基		1		
照明柱 R-10(夜間)		基		1		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		940		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		42		
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		42		
直接工事費		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
準備費		式		1		
試掘		箇所		4		
技術管理費		式		1		
道路施設基本データ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名      安来電線共同溝PFI事業（3工区）

国土交通省 中国地方整備局  
松江国道事務所 管理第二課

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝 （上り線 3工区）		式		1		
仮設工		式		1		
路面覆工		式		1		
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1		
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1		
土留・仮締切工		式		1		
固結工		式		1		
交通管理工		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破碎工		式		1		
殻運搬 （夜間）	アスファルト殻	m3		48		



## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻処分 （夜間）	アスファルト殻	m3		48		
舗装版切断 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm以下	m		690		
舗装版切断 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm超30cm以下	m		330		
舗装版破砕 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm超35cm以下	m2		560		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削 （夜間）		式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	式		1		
残土処理工		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		333		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		355		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		418		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		208		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		68		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150mm	m		113		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250mm	m		81		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		441		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		424		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		429		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		132		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		107		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		94		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		108		
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R6) 径 125mm	m		40		
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		57		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R6) 径 75mm	m		40		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R6) 径 50mm	m		10		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		24		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R6) 径 150mm	m		14		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R6) 径 250mm	m		10		
管路管台 （夜間）	HIVP管用 φ125-250P	個		1,947		
管路管台 （夜間）	HIVP管用 φ100-150P	個		1,972		
管路管台 （夜間）	PV管用 φ75-130P	個		1,138		
管路管台 （夜間）	PV管用 φ50-95P	個		240		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ100-150P	個		162		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ150-220P	個		158		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ250-350P	個		208		
中間継手 （夜間）	HIVP φ125用	個		16		
中間継手 （夜間）	HIVP φ100用	個		20		
中間継手 （夜間）	PV φ75用	個		25		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）						（ 当 初 ）
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
中間継手 （夜間）	PV φ 50用	個		18			
中間継手 （夜間）	VP φ 100用	個		7			
中間継手 （夜間）	VP φ 150用	個		4			
中間継手 （夜間）	VP φ 250用	個		1			
鞘管固定管(起点用) （夜間）	VP管 φ 250用	個		3			
鞘管固定管(終点用) （夜間）	VP管 φ 250用	個		1			
埋設表示シート （夜間）	W=300 2倍	m		684			
敷砂 （夜間）		m3		18			
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1			
プレキャストボックス （夜間）	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		1			
プレキャストボックス （夜間）	4.5タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		1			

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
プレキャストボックス （夜間）	4.5タイプ S型 内幅 1.3m 内高 1.8m RC-40	個		1		
プレキャストボックス （夜間）	3.7タイプ S型 内幅 1.3m 内高 2.2m RC-40	個		1		
プレキャストボックス 分岐枿（夜間）	1.2タイプ 内幅 0.6m 内高 0.415m R C-40	個		3		
ヘルマウス		式		1		
情報ボックス工		式		1		
作業土工		式		1		
管路工（管路部）		式		1		
埋設管路 （夜間）	合成樹脂製 径 300mm	m		155		
埋設管路 （夜間）	鋼製 径 50mm	m		44		
埋設表示シート （夜間）	W=300 2倍	m		155		
敷砂 （夜間）		m <sup>3</sup>		15		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路改良 （上り線 3工区）		式		1		
道路土工		式		1		
残土処理工		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
側溝工		式		1		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H700	m		43		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H800	m		29		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H900	m		12		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H1000	m		20		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H1100	m		14		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H1200	m		1		
管渠工		式		1		
鉄筋コンクリート台付管 （夜間）	φ 300	m		12		
舗装工		式		1		
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1		
下層路盤(車道・路肩部) （夜間）	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 200m m	m2		269		
上層路盤(車道・路肩部) （夜間）	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150m m	m2		269		
上層路盤(車道・路肩部) （夜間）	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80m m	m2		269		
基層(車道・路肩部) （夜間）	再生粗粒度Asポリアマ-改質 I 型(20) 舗 装厚 50mm 1.4m以上	m2		269		
排水性舗装・表層(車道・路肩部) （夜間）	ポ-ラスAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以 上	m2		269		
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1		



## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）		（ 当 初 ）			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
フィルター層 （夜間）	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		1,610		
下層路盤(歩道部) （夜間）	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 100m m	m2		1,610		
表層 （夜間）	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40m m	m2		1,610		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1		
フィルター層 （夜間）	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		317		
下層路盤(歩道部) （夜間）	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150m m	m2		317		
表層 （夜間）	透水性As 1.4m以上 舗装厚 50m m	m2		317		
縁石工		式		1		
縁石工		式		1		
歩車道境界ブロック 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		129		
歩車道境界ブロック 縁石工B（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		34		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）		（ 当 初 ）			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
歩車道境界ブロック 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		40		
歩車道境界ブロック 縁石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		7		
歩車道境界ブロック 縁石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		8		
道路付属施設工		式		1		
照明工		式		1		
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		4		
照明柱 R-12(夜間)		基		1		
照明柱 R-13(夜間)		基		1		
照明柱 R-15(夜間)		基		1		
照明柱 R-16(夜間)		基		1		
構造物撤去工		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
構造物取壊し工		式		1		
舗装版破砕 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		2,190		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 （夜間）	アスファルト殻	m3		90		
殻処分 （夜間）	アスファルト殻	m3		90		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
準備費		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
試掘		箇所		4		
事業損失防止施設費		式		1		
事業損失防止施設費 （夜間）		式		1		
技術管理費		式		1		
道路施設基本データ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） （当 初）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名      安来電線共同溝PFI事業（4工区）

国土交通省 中国地方整備局  
松江国道事務所 管理第二課

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （当 初）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝 （上り線 4工区）		式		1		
仮設工		式		1		
路面覆工		式		1		
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1		
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1		
土留・仮締切工		式		1		
固結工		式		1		
薬液注入 （夜間）		本		12		
交通管理工		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破碎工		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻運搬 （夜間）	アスファルト殻	m3		59		
殻処分 （夜間）	アスファルト殻	m3		59		
舗装版切断 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm以下	m		1,320		
舗装版切断 （夜間）	アスファルト舗装版 舗装厚 180mm	m		260		
舗装版破砕 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm超35cm以下	m2		780		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削 （夜間）		式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	式		1		



# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
残土処理工		式		1		
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		490		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		449		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		514		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		323		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		105		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150mm	m		109		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250mm	m		89		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		484		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）		（当 初）			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		509		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		513		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		177		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		126		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		123		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		130		
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		6		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		6		
管路管台 （夜間）	HIVP管用 φ125-250P	個		2,239		
管路管台 （夜間）	HIVP管用 φ100-150P	個		2,081		
管路管台 （夜間）	PV管用 φ75-130P	個		1,256		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
管路管台 （夜間）	PV管用 φ 50-95P	個		368		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ 100-150P	個		178		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ 150-220P	個		174		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ 250-350P	個		312		
中間継手 （夜間）	HIVP φ 125用	個		32		
中間継手 （夜間）	HIVP φ 100用	個		36		
中間継手 （夜間）	PV φ 75用	個		37		
中間継手 （夜間）	PV φ 50用	個		32		
中間継手 （夜間）	VP φ 100用	個		11		
中間継手 （夜間）	VP φ 150用	個		5		
中間継手 （夜間）	VP φ 250用	個		5		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		5		
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		5		
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		812		
敷砂 (夜間)		m3		30		
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1		
プレキャストボックス (夜間)	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		
プレキャストボックス (夜間)	4.5タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		
プレキャストボックス (夜間)	4.5タイプ L型 内幅 1.35/2.15m 内高 1.8m RC-40	個		2		
プレキャストボックス (夜間)	3.7タイプ S型 内幅 1.3m 内高 1.8m RC-40	個		1		
プレキャストボックス (夜間)	2.2タイプ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		1		
プレキャストボックス (夜間)	2.2タイプ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		1		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
プレキャストボックス （夜間）	2.2タイプ 高圧開閉器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		2		
プレキャストボックス 通信基点樹(夜間)	2.2タイプ 内幅 0.95m 内高 1.5m RC-40	個		1		
プレキャストボックス 分岐樹(夜間)	1.2タイプ 内幅 0.6m 内高 0.415m RC-40	個		2		
ヘルマウス		式		1		
情報ボックス工		式		1		
作業土工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 （夜間）	合成樹脂製 径 300mm	m		125		
埋設管路 （夜間）	鋼製 径 50mm	m		18		
埋設表示シート （夜間）	W=300 2倍	m		125		
敷砂 （夜間）		m3		13		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
管路防護工		式		1		
防護コンクリート （夜間）		箇所		1		
ハンドホール工		式		1		
ハンドホール （夜間）	B1000×H1000×L1500	箇所		1		
ハンドホール （夜間）	B600×H1100×L600	箇所		2		
道路改良 （上り線 4工区）		式		1		
道路土工		式		1		
残土処理工		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
側溝工		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （当 初）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
縁石管渠A1 （夜間）	φ 150	m		94		
縁石管渠A2 （夜間）	φ 150	m		15		
縁石管渠B （夜間）	φ 150	m		39		
縁石管渠C （夜間）	φ 150	m		12		
縁石管渠D(L) （夜間）	φ 150	m		3		
縁石管渠D(R) （夜間）	φ 150	m		3		
縁石管渠柵A （夜間）	φ 150	箇所		7		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H700	m		27		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H800	m		29		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H900	m		23		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H1000	m		14		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H1100	m		12		
自由勾配側溝 （夜間）	B300-H1400	m		6		
管渠工		式		1		
鉄筋コンクリート台付管 （夜間）	φ 300	m		12		
舗装工		式		1		
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1		
下層路盤(車道・路肩部) （夜間）	再生クワッシュラン RC-40 仕上り厚 200m m	m2		380		
上層路盤(車道・路肩部) （夜間）	粒度調整碎石 M-40 仕上り厚 150m m	m2		380		
上層路盤(車道・路肩部) （夜間）	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80m m	m2		380		
基層(車道・路肩部) （夜間）	再生粗粒度Asポリマ-改質 I 型(20) 舗 装厚 50mm 1.4m以上	m2		380		
排水性舗装・表層(車道・路肩部) （夜間）	ポーラスAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以 上	m2		380		



## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）		（ 当 初 ）			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1		
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		533		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 100m m	m2		533		
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40m m	m2		533		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1		
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		312		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150m m	m2		312		
表層 (夜間)	透水性As 1.4m以上 舗装厚 50m m	m2		312		
縁石工		式		1		
縁石工		式		1		
歩車道境界ブロック 縁石工A(夜間)	C種(180/210×300×600)	m		43		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
歩車道境界ブロック 縁石工B（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		65		
歩車道境界ブロック 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		17		
歩車道境界ブロック 縁石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		5		
歩車道境界ブロック 縁石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		5		
道路付属施設工		式		1		
照明工		式		1		
照明柱基礎 1号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 4号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱 R-17(夜間)		基		1		
照明柱 R-18(夜間)		基		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
照明柱 R-19(夜間)		基		1		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		1,230		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		53		
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		53		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
仮設材運搬費		式		1		
準備費		式		1		
試掘		箇所		9		
事業損失防止施設費		式		1		
事業損失防止施設費 （夜間）		式		1		
技術管理費		式		1		
道路施設基本データ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名      安来電線共同溝PFI事業（5工区）

国土交通省 中国地方整備局  
松江国道事務所 管理第二課

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝 （上り線 5工区）		式		1		
仮設工		式		1		
路面覆工		式		1		
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1		
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1		
土留・仮締切工		式		1		
水路補強工		式		1		
交通管理工		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破碎工		式		1		
殻運搬 （夜間）	アスファルト殻	m3		46		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻処分 （夜間）	アスファルト殻	m3		46		
舗装版切断 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm以下	m		700		
舗装版切断 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm超30cm以下	m		270		
舗装版破砕 （夜間）	アスファルト舗装版 15cm超35cm以下	m2		510		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削 （夜間）		式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	式		1		
残土処理工		式		1		



# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		376		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		479		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		522		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		206		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		95		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150mm	m		94		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250mm	m		125		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		238		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		335		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		357		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		158		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		62		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		80		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		75		
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R6) 径 125mm	m		36		
埋設管路 （夜間）	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		89		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R6) 径 75mm	m		55		
埋設管路 （夜間）	PV管 曲管(R6) 径 50mm	m		18		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		33		
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R6) 径 150mm	m		23		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 （夜間）	VP管 曲管(R6) 径 250mm	m		18		
管路管台 （夜間）	HIVP管用 φ125-250P	個		1,428		
管路管台 （夜間）	HIVP管用 φ100-150P	個		1,737		
管路管台 （夜間）	PV管用 φ75-130P	個		1,168		
管路管台 （夜間）	PV管用 φ50-95P	個		316		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ100-150P	個		138		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ150-220P	個		146		
管路管台 （夜間）	VP管用 φ250-350P	個		251		
中間継手 （夜間）	HIVP φ125用	個		8		
中間継手 （夜間）	HIVP φ100用	個		16		
中間継手 （夜間）	PV φ75用	個		10		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
中間継手 （夜間）	PV φ 50用	個		3		
中間継手 （夜間）	VP φ 100用	個		7		
中間継手 （夜間）	VP φ 150用	個		4		
中間継手 （夜間）	VP φ 250用	個		2		
鞘管固定管(起点用) （夜間）	VP管 φ 250用	個		2		
鞘管固定管(終点用) （夜間）	VP管 φ 250用	個		2		
埋設表示シート （夜間）	W=300 2倍	m		679		
敷砂 （夜間）		m3		13		
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1		
プレキャストボックス （夜間）	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		1		
プレキャストボックス （夜間）	4.5タイプ L型 内幅 1.35/2.15m 内高 1.8m RC-40	個		1		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）		（ 当 初 ）			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
プレキャストボックス （夜間）	2.2タイプ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		1		
プレキャストボックス 通信基点樹（夜間）	2.2タイプ 内幅 0.95m 内高 1.5m RC-40	個		1		
プレキャストボックス 分岐樹（夜間）	1.2タイプ 内幅 0.6m 内高 0.8m RC-40	個		2		
プレキャストボックス 分岐樹（夜間）	1.2タイプ 内幅 0.6m 内高 0.415m RC-40	個		5		
ヘルマウス		式		1		
情報ボックス工		式		1		
作業土工		式		1		
管路工（管路部）		式		1		
埋設管路 （夜間）	合成樹脂製 径 300mm	m		107		
埋設管路 （夜間）	鋼製 径 50mm	m		233		
埋設表示シート （夜間）	W=300 2倍	m		107		

# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
敷砂 （夜間）		m3		11		
管路防護工		式		1		
防護コンクリート （夜間）		箇所		1		
ハンドホール工		式		1		
ハンドホール （夜間）	B600×H1100×L600	箇所		4		
道路改良 （上り線 5工区）		式		1		
道路土工		式		1		
残土処理工		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
側溝工		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
縁石管渠A1 （夜間）	φ 150	m		94		
縁石管渠B （夜間）	φ 150	m		19		
縁石管渠C （夜間）	φ 150	m		25		
縁石管渠D(L) （夜間）	φ 150	m		3		
縁石管渠D(R) （夜間）	φ 150	m		3		
縁石管渠柵A （夜間）	φ 150	箇所		8		
舗装工		式		1		
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1		
下層路盤(車道・路肩部) （夜間）	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 200m m	m2		286		
上層路盤(車道・路肩部) （夜間）	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150m m	m2		286		
上層路盤(車道・路肩部) （夜間）	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80m m	m2		286		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）		（ 当 初 ）			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
基層（車道・路肩部） （夜間）	再生粗粒度Asポリアー改質Ⅰ型（20）舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		286		
排水性舗装・表層（車道・路肩部） （夜間）	ポラスAs（13）舗装厚 50mm 2.4m以上	m2		286		
透水性舗装工 歩道舗装（A）		式		1		
フィルター層 （夜間）	砂（クッション用）仕上り厚 50mm	m2		401		
下層路盤（歩道部） （夜間）	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 100mm	m2		401		
表層 （夜間）	透水性As（13）1.4m以上 舗装厚 40mm	m2		401		
透水性舗装工 歩道舗装（B）		式		1		
フィルター層 （夜間）	砂（クッション用）仕上り厚 50mm	m2		41		
下層路盤（歩道部） （夜間）	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150mm	m2		41		
表層 （夜間）	透水性As 1.4m以上 舗装厚 50mm	m2		41		
縁石工		式		1		



# 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
縁石工		式		1		
歩車道境界ブロック 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		40		
歩車道境界ブロック 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		16		
歩車道境界ブロック 縁石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		1		
歩車道境界ブロック 縁石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		2		
道路付属施設工		式		1		
照明工		式		1		
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 4号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱 R-20(夜間)		基		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
照明柱 R-21(夜間)		基		1		
照明柱 R-22(夜間)		基		1		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		730		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		32		
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		32		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
準備費		式		1		
試掘		箇所		3		
技術管理費		式		1		
道路施設基本データ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

## 工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名 安来電線共同溝PFI事業（1工区）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 中国地方整備局  
松江国道事務所 管理第二課

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事				
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項						
						名称		単位	数量			
電線共同溝 (上り線 1工区)		式		1								
仮設工		式		1								
路面覆工		式		1								
覆工板・覆工板受桁 (夜間)	設置・撤去					覆工板・受桁設置・撤去（設置面積700m <sup>2</sup> 以下） 作業区分=設置・撤去；ラフテレンクレーン賃料補正=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正(実数入力)=1.3 無； 覆工板・鋼製マット賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製滑り止め 従来型)；供用月数(実数入力)=9 月；継続工事の有無=無；修理費及び損耗費の計上=有；一現場での使用回数(実数入力)=5 回； 山留材賃料 火打ブロックの有無=無；供用日数(実数入力)=273 日；継続工事の有無=無；主部材修理費及び損耗費の計上=有；主部材一現場での使用回数(実数)=5 回/現場；副部材A修理費及び損耗費の計上=有；副部材A一現場での使用回数(実)=5 回/現場；副部材Bの計上=有；副部材B一現場での使用回数(実)=5 回/現場；	m <sup>2</sup>	95	m <sup>2</sup>	19	t	1.6

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事					
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項						
						名称	単位	数量				
敷鉄板 (夜間)	22×1524×3048 設置・撤去	m2		22		敷鉄板設置・撤去 作業区分=設置・撤去；ラフテレンクレーン賃料補正=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正(実数入力)=1.3 無； 敷鉄板賃料 敷鉄板の種類=22×1524×3048；不足分弁償金の有無=無；供用日数(日)(実数入力)=273 日；継続工事の有無=無；整備費の有無=有； 山留材賃料 火打ブロックの有無=無；供用日数(実数入力)=273 日；継続工事の有無=無；主部材修理費及び損耗費の計上=有；主部材一現場での使用回数(実数)=5 回/現場；副部材A修理費及び損耗費の計上=有；副部材A一現場での使用回数(実)=5 回/現場；副部材Bの計上=有；副部材B一現場での使用回数(実)=5 回/現場；	m 2	22	枚	1	t	0.04
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1								
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-30 仕上り厚 100mm	m2		332		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生クラッシュ RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1				
表層(歩道部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 40mm 1.4m以上	m2		332		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1				
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1								

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150mm	m2		346		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下；材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50m	m2		346		< 1 m2当り > 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=フライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	LSP-2 L=2.5m	m		525		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(LSP-2 L=2.5m)	m m	525 20	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=3.5m	枚		192		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=3.5m 軽作業5回)	枚 枚 枚	192 192 38	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.0m	枚		727		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.0m 軽作業5回)	枚 枚 枚	727 727 145	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.5m	枚		178		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.5m 軽作業5回)	枚 枚 枚	178 178 36	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.0m	枚		140		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.0m 軽作業5回)	枚 枚 枚	140 140 28	



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.5m	枚		174		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長6m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長6m以下) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(圧入) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(引抜) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.5m 軽作業5回)	枚 枚 回 回 枚	174 174 5 5 35		
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板 長さ 6.5m 鋼矢 板打込長 6m 平 均鋼矢板引抜長 6 m				41	鋼矢板圧入 (N <sub>max</sub> ≤ 25) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下 ; ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(N <sub>max</sub> ≤ 25); 鋼矢板型式=III型; 施 工場所=陸上; ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2 次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下 ; ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸 上; ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料(普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入 力)=6.5 m/枚; 供用日数(実数入力)=273 日; 継続 工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業 区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=5 回 ;	枚 回 枚 回 枚	41 5 41 5 8		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
切梁・腹起し (夜間)		t		7.9		切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置・撤去；火打ブロックの有無=無；ラフレン クレーン賃料補正=標準以外；ラフレンクレーン賃料補正(実数 入力)=1.3 無； 山留材賃料 火打ブロックの有無=無；供用日数(実数入力)=273 日； 継続工事の有無=無；主部材修理費及び損耗費の計 上=有；主部材一現場での使用回数(実数)=5 回/現 場；副部材A修理費及び損耗費の計上=有；副部材A 一現場での使用回数(実)=5 回/現場；副部材Bの計 上=有；副部材B一現場での使用回数(実)=5 回/現場 ；	t	7.9	
横矢板 (夜間)	横矢板厚さ 0.03 m	m2		3		< 1 m2当り > 横矢板設置・撤去 作業区分=設置；横矢板の厚さ(実数入力)=0.03 m；	m 2	1	
固結工		式		1					
薬液注入 (夜間)		本		12		二重管ストレーナ工法 注入方式=複相方式；セット数=2セット；レキ質土の削孔長(実数入力)=0 m；砂質土の削孔長(実数入力)=3.646 m；粘性土の削孔長(実数入力)=0 m；土被り長(L2)(実数入力)=1 m；1本当り注入量(QS)(実数入力)=556 L/本；水ガラス積算流量計の有無=無；特許料の有無=無； 注入設備の据付・解体 注入方式=二重管ストレーナ工法；セット数=2セット；	本	12	
水路補強工		式		1			現場	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
水路補強 (夜間)		式		1		溝形鋼 大形 SS400 8×200×90 コンクリートアンカー M16 L=60 モルタル練 セメント種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用;	t 本 m <sup>3</sup>	0.364 40 3.9	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員		人日		170		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1	
交通誘導警備員		人日		1,530		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破砕工		式		1					
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m <sup>3</sup>		56		< 1 m <sup>3</sup> 当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	1	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m <sup>3</sup>		56		処分費 (m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	56	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m		980		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm超30cm以下	m		290		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版破砕 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm超35cm以下	m2		690		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cmを超え35cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削 (夜間)		m3		870		< 1 m3当り > 床掘り	m 3	1	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締め (夜間)	土砂	m3		350		< 1 m3当り > 埋戻し・締め 土質=土砂;	m 3	1	
埋戻し・締め (夜間)	中埋砂	m3		210		< 1 m3当り > 埋戻し・締め 土質=中埋砂;	m 3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
残土処理工		式		1					
土砂等運搬 (夜間)		m3		480		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=6.0km以下；	m 3	1	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		496		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		488		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		540		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		149		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		121		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150mm	m		126		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250 mm	m		116		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		319		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		351		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		388		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		133		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		77		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		69		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		77		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-2 50P	個		1,708		< 1 個当り > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-1 50P	個		1,765		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,029		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	PV管用 φ50-95P	個		247		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ100-150 P	個		131		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ150-220 P	個		126		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ250-350 P	個		187		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
中間継手 (夜間)	HIVP φ125用	個		16		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 半割継手 HIVP φ125（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	HIVP φ100用	個		23		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 半割継手 HIVP φ100（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	PV φ75用	個		26		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 PV φ75（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	PV φ50用	個		11		< 1 個当たり > 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 PV φ50用	個	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名 称			単 位	数 量
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		7		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 VPφ100 (電共用)			個	1
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 VPφ150 (電共用)			個	1
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		4		< 1 個当り > 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 スライド管 VPφ250			個	1
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		5		< 1 個当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`デ`イ管(φ250mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30))；			m	1.2
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		4		< 1 個当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`デ`イ管(φ250mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30))；			m	1.14
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		711		< 1 m当り > 埋設標識シート設置(W=300 2倍)			m	1
敷砂 (夜間)		m3		24		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=中埋砂；			m3	1
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1						



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事													
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項														
						名称	単位	数量												
プレキャストボックス (夜間)	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		3		< 1 個当り > 沈下埋設工(W1350×H1800×L3700) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1 800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般 構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場 合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正 =無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基	1	個	1	個	1	個	1	m 3	1.238	m 2	4.95	t	0.087

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事								
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項										
						名称		単位	数量							
プレキャストボックス (夜間)	4.5タイプ L型 内幅 1.3/2.1m 内高 1.8m RC-40	個		1		従来型(W1300/2100×H1800×L4500) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装 置付 ●プレキャストボックス L型MH W1300/2100×H1800× L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュン 40～0；費用の内訳=全ての費用；	基	1	個	1	個	1	m 3	1.998	m 2	19.98

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	2.2タイプ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1000×H1500×L2200)	基	1	
						ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装置付	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1000×H1500×L2200	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×300 H=205	個	1	
						コンクリート	m 3	0.55	
						構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m <sup>3</sup> /日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；			
						基礎砕石	m 2	2.2	
						砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；			
						鉄筋工 [市場単価]	t	0.041	
						鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；			

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	3.6kV <sup>レ</sup> 路上変圧 ・高圧開閉器用 内 幅 1.2m 内高 1. 5m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1200×H1500×L3600)	基	1	
						ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装 置付	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1200×H1500×L3600	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×310 H=200	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 75 0×300 H=200	個	1	
						コンクリート	m <sup>3</sup>	1.08	
						構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用；			
						基礎砕石	m <sup>2</sup>	4.32	
						砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；			
						鉄筋工 [市場単価]	t	0.074	
						鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般 構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場 合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正 =無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；			

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス 通信基点柵(夜間)	2.2タイプ 内幅 0.9 5m 内高 1.5m R C-40	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg超～4000kg以下；ラフ テレシヤレン賃料補正係数=標準以外；ラフテレシヤレン賃料 補正係数(実数入力)=1.3 無； 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下； ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装 置付 コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；	個	1	
						組	1		
プレキャストボックス 分岐柵(夜間)	1.2タイプ 内幅 0.6 m 内高 0.415m RC-40	個		2		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレシヤレン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレシヤレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無； モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費 用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレシヤレン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレシヤレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	1	
						m 3	0.035		
						m 2	1.398		
						個	1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ベルマウス						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ125 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 受口付ベルマウス H I V P φ 1 2 5 (電共用)	個	32	
						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ100 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 受口付ベルマウス H I V P φ 1 0 0 (電共用)	個	7	
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ75 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ PVφ75 (電共用)	個	36	
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ50 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ PVφ50 (電共用)	個	11	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ250 ベルマウス VPφ250	個	30	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ150 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径150 (電共用)	個	23	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径100 (電共用)	個	8	
		式		1			個	20	
情報ボックス工		式		1			個	6	
作業土工		式		1			個	3	
床掘り (夜間)		m3		90		< 1 m3当り > 床掘り	m3	6	
							個	3	
							個	10	
							個	5	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
残土処理 (夜間)	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		70		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m 3	1	
埋戻し (夜間)		m3		20		< 1 m3当り > 埋戻し	m 3	1	
埋戻し (夜間)		m3		30		< 1 m3当り > 埋戻し 中埋材(材料費) 中埋材料=砂;	m 3 m 3	1 1	
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		131		< 1 m当り > 埋設部管路材設置 本体管の材質=合成樹脂製; さや管の材質=VU管類; 設置区分=本体管及びさや管設置; さや管の条数=10管;	m	1	
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		100		< 1 m当り > 埋設部管路材設置 本体管の材質=鋼製; 設置区分=本体管設置;	m	1	
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		131		< 1 m当り > 埋設表示シート(材料費)	m	1	
敷砂 (夜間)		m3		13		< 1 m3当り > 埋戻し 中埋材(材料費) 中埋材料=砂;	m 3 m 3	1 1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路防護工		式		1					
防護コンクリート (夜間)		箇所		1		コンクリート 構造物種別=小型構造物；施工条件=打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=小型構造物； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1.7	
							m 2	3.2	
							m 2	11.6	
ハンドホール工		式		1					
ハンドホール (夜間)	B1000×H1000×L1 500	箇所		1		ハンドホール クレーン機種=トラック(クレーン装置付)4t積・2.9t吊； ハンドホール蓋（材料費） モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュラン 40～0；	個	1	
							枚	1	
							m 3	0.065	
							m 2	2.466	



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ハンドホール (夜間)	B600×H1100×L600	箇所		2		< 1 箇所当り > ハンドホール クレーン機種=トラック(クレーン装置付)4t積・2.9t吊; モルタル練 セメント種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0;	個	1	
道路改良 (上り線 1工区)		式		1					
道路土工		式		1					
残土処理工		式		1					
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		7		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=バックホ山積0.45m3(平積0.35m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m3	1	
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		23		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
排水構造土工		式		1						
作業土工		式		1						
床掘り (夜間)	土砂	m3		20		< 1 m3当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=平均施工幅1m以上2m未満；土留方式の種類=無し；障害の有無=障害無し；	m 3	1		
床掘り (夜間)	土砂	m3		60		< 1 m3当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=上記以外(小規模)；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1		
埋戻し (夜間)	土砂	m3		8		< 1 m3当り > 埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満；	m 3	1		
埋戻し (夜間)	土砂	m3		40		< 1 m3当り > 埋戻し 施工方法=上記以外(小規模)；土質区分=土砂；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1		
基面整正 (夜間)		m2		6		< 1 m2当り > 基面整正	m 2	1		
側溝工		式		1						
縁石管渠A1 (夜間)	φ150	m		109		< 1 m当り > 路側側溝設置(D150 L1000)	m	1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
縁石管渠B (夜間)	φ 150	m		22		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠C (夜間)	φ 150	m		21		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠D(L) (夜間)	φ 150	m		3		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠D(R) (夜間)	φ 150	m		3		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠樹A (夜間)	φ 150	箇所		11		< 1 箇所当り > プレキャスト集水樹 作業区分=据付; 製品質量(kg/基)=80kgを超え400kg以下; 基礎碎石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用; プレキャスト集水樹 (材料費)	基	1	
縁石管渠樹B (夜間)	φ 150	箇所		2		< 1 箇所当り > プレキャスト集水樹 作業区分=据付; 製品質量(kg/基)=80kgを超え400kg以下; 基礎碎石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用; プレキャスト集水樹 (材料費)	基	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
舗装工		式		1					
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1					
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 200mm	m2		342		< 1 m2当り > 下層路盤(車道・路肩部) 平均厚さ=175mmを超え200mm以下; 材料=再生クラッシュラン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		346		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=粒度調整砕石 M-40; 平均厚さ=125mmを超え150mm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		346		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=路盤材(各種); 平均厚さ=75mmを超え85mm以下; 平均幅員=1.4m以上; 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asホリマ-改質I型(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		346		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
排水性舗装・表層(車道・路肩部) (夜間)	ホ-ラスAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以上	m2		346		< 1 m2当り > 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 平均施工幅員=2.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(65mm未満)(実数入力)=50 mm; 導水パイプの設置=無し; 材料=各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満); 瀝青材料の規格=タックコート PKR(ゴム入り);	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1						
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上 り厚 50mm	m2		444		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	m 2	1		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-3 0 仕上り厚 100m m	m2		444		< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生クラッシュ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4 m以上 舗装厚 40 mm	m2		444		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以 下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m 3未満);	m 2	1		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1						
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上 り厚 50mm	m2		78		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	m 2	1		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-4 0 仕上り厚 150m m	m2		78		< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生クラッシャ ン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
表層 (夜間)	透水性As 1.4m 以上 舗装厚 50m m	m2		78		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以 下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m 3未満);	m 2	1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
縁石工		式		1					
縁石工		式		1					
歩車道境界ブロック 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300 ×600)	m		37		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=C種(180/210×300×600) ；基礎砕石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250 ×600)	m		4		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=B種(180/205×250×600) ；基礎砕石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
道路付属施設工		式		1					
照明工		式		1					
照明柱基礎 2号（夜間）	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜（施工回数3回以上） 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.372	
照明柱基礎 3号（夜間）	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜（施工回数3回以上） 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.641	
照明柱 R-1（夜間）		基		1		照明柱 建柱	基	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
照明柱 R-2(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1		
標識工		式		1						
大型標識工		式		1						
標識基礎 (夜間)	片持式の基礎 4.0 m3未満	基		1		標識基礎設置（片持式・門型式） 基礎の形式=片持式の基礎；基礎の規格=4.0m3未満； 時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業の補 正=有；地下構造物等の障害=無；	m 3	1.335		
			鉄筋工〔市場単価〕 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般 構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場 合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正 =無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無（鉄 筋割合10%未満含む）；構造物種別による補正=補正 無（一般構造物）；	t	0.022					
						アンカーボルト材料費	k g	47.5		
片持標識柱 (移設)(夜間)	逆L型	基		1		標識柱撤去（片持式・門型式） 柱の種類・規格=片持式 400kg未満/基；施工規模加 算=1基；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間 作業の補正=有；	基	1		
			標識柱設置（片持式） 柱の質量区分=400kg未満/基；柱材料の規格=不要； 施工規模加算=1基；時間的制約を受ける場合の補正 =無；夜間作業の補正=有；	基	1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
標識板 (移設)(夜間)	2.0m2以上	枚		1		標識板撤去(案内標識(路側式・片持式・門型式))	m 2	2.06	
						標識板の規格=2.0m2以上; 施工規模加算=10m2以上; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有;			
						標識板設置(案内標識[路線番号除く])	m 2	2.06	
						作業内容=移設; 標識板の規格=2.0m2以上; 施工規模加算=10m2未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有;			
構造物撤去工		式		1					
構造物取壊し工		式		1					
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		870		< 1 m2当り > 舗装版破碎	m 2	1	
						舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;			
運搬処理工		式		1					
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		38		< 1 m3当り > 殻運搬	m 3	1	
						殻発生作業=舗装版破碎; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;			
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		38		< 1 m3当り > 処分費 (m 3)	m 3	1	



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					
仮設材運搬費		t		80		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力) )=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み、取卸し費 作業区分=積込み, 取卸し(片道分)；	t	1	
準備費		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
試掘						< 1 箇所当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=現場制約あり； 埋戻し 施工方法=現場制約あり；土質区分=土砂；締固めの有無=有り； 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用； 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 3	3.285	
		箇所		6					
事業損失防止施設費		式		1					
事業損失防止施設費 (夜間)		式		1		機械ボーリング工 観測井戸設置	m m	4.6 4.6	
技術管理費		式		1					
道路施設基本データ作成費用		式		1		道路施設基本データ作成費用	式	1	
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地			
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；除雪工補正=補正無；週休2日の補正=しない			

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休2日の補正=しない			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

## 見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象	管理費区分7 間接労務費対象 労務費					
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名	安来電線共同溝PFI事業（1工区）（当初）				事業区分	共同溝・電線共同溝			
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	工事区分 管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3	56	○					
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3	38	○					
事業損失防止施設費 (夜間)		式	1					○	
道路施設基本データ作成費用		式	1					○	

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名 安来電線共同溝PFI事業（2工区）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 中国地方整備局  
松江国道事務所 管理第二課

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝 (上り線 2工区)		式		1					
仮設工		式		1					
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1					
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-30 仕上り厚 100mm	m2		222		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生クラッシュ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層(歩道部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 40mm 1.4m以上	m2		222		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1					
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		377		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm)	m2		377		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	LSP-2 L=2.5m	m		537		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(LSP-2 L=2.5m)	m m	537 20	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=3.5m	枚		130		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=3.5m 軽作業4回)	枚 枚 枚	130 130 33	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.0m	枚		93		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.0m 軽作業4回)	枚 枚 枚	93 93 23	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.5m	枚		237		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.5m 軽作業4回)	枚 枚 枚	237 237 59	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.0m	枚		76		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.0m 軽作業4回)	枚 枚 枚	76 76 19	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.5m	枚		162		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長6m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長6m以下) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(圧入) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(引抜) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.5m 軽作業4回)	枚 枚 回 回 枚	162 162 4 4 41	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）					工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板 長さ 6m 鋼矢板 打込長 5.5m 平 均鋼矢板引抜長 5 .5m	枚		202		鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下 ; ラフテレーンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax ≤ 25); 鋼矢板型式=III型; 施 工場所=陸上; ラフテレーンクレーン規格=排出ガス対策型(第2 次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下 ; ラフテレーンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸 上; ラフテレーンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値);  鋼矢板賃料(普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入 力)=6 m/枚; 供用日数(実数入力)=273 日; 継続工 事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区 分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回;	枚	202	枚	429
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板 長さ 6.5m 鋼矢 板打込長 6m 平 均鋼矢板引抜長 6 m	枚		429		鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下 ; ラフテレーンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下 ; ラフテレーンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料(普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入 力)=6.5 m/枚; 供用日数(実数入力)=273 日; 継続 工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業 区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回 ;	枚	429	枚	107



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
切梁・腹起し (夜間)		t		34		切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置・撤去；火打ブロックの有無=無；ラフテレン クレーン賃料補正=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正(実数 入力)=1.3 無； 山留材賃料 火打ブロックの有無=無；供用日数(実数入力)=273 日； 継続工事の有無=無；主部材修理費及び損耗費の計 上=有；主部材一現場での使用回数(実数)=4 回/現 場；副部材A修理費及び損耗費の計上=有；副部材A 一現場での使用回数(実)=4 回/現場；副部材Bの計 上=有；副部材B一現場での使用回数(実)=4 回/現場 ；	t	34	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員		人日		170		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A 作業区分=夜間勤務(交替要員有り)；	人日	1	
交通誘導警備員		人日		1,530		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B 作業区分=夜間勤務(交替要員有り)；	人日	1	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破砕工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		56		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		56		処分費 (m 3)	m 3	56	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m		830		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm超30cm以下	m		340		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm超35cm以下	m2		600		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cmを超え35cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削 (夜間)		m3		1,000		< 1 m3当り > 床掘り	m 3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締固め (夜間)	土砂	m3		490		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=土砂;	m 3	1	
埋戻し・締固め (夜間)	中埋砂	m3		210		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	m 3	1	
残土処理工		式		1					
土砂等運搬 (夜間)		m3		450		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=6.0km以下；	m 3	1	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		361		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		309		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		437		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50 mm	m		195		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100 mm	m		61		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150 mm	m		73		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250 mm	m		84		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`デ`イ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		418		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		434		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		418		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		105		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		105		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		116		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		105		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 125mm	m		40		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		72		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 75mm	m		40		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 50mm	m		10		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		33		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 150mm	m		17		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 250mm	m		10		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-2 50P	個		1,919		< 1 個当り > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-150P	個		1,962		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,106		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	PV管用 φ50-95P	個		210		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ100-150P	個		165		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ150-220P	個		165		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ250-350P	個		204		< 1 個当たり > 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	1	
中間継手 (夜間)	HIVP φ125用	個		16		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 半割継手 HIVP φ125（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	HIVP φ100用	個		21		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 半割継手 HIVP φ100（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	PV φ75用	個		24		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 PV φ75（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	PV φ50用	個		15		< 1 個当たり > 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 PV φ50用	個	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		9		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 VPφ100 (電共用)	個	1	
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 VPφ150 (電共用)	個	1	
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		2		< 1 個当り > 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 スライド管 VPφ250	個	1	
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		3		< 1 個当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`デ`イ管(φ250mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30))；	m	1.2	
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		2		< 1 個当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`デ`イ管(φ250mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30))；	m	1.14	
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		743		< 1 m当り > 埋設標識シート設置(W=300 2倍)	m	1	
敷砂 (夜間)		m3		23		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=中埋砂；	m3	1	
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L3700) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1 800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュァン 40～0；費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般 構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場 合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正 =無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基 個 個 個 m 3 m 2 t	1 1 1 1 1.238 4.95 0.087	



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事											
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項												
						名称	単位	数量										
プレキャストボックス (夜間)	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 2.2 m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H2200×L3700) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H2 200×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュアレン 40～0；費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般 構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場 合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正 =無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基	1	個	1	個	1	m 3	1.238	m 2	4.95	t	0.087

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事													
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項														
						名称	単位	数量												
プレキャストボックス (夜間)	4.5タイプ S型 内幅 1.35m 内高 2.2 m RC-40	個		2		< 1 個当り > 沈下埋設工(W1350×H2200×L4500) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H2 200×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般 構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場 合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正 =無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基	1	個	1	個	1	個	1	m 3	1.519	m 2	6.075	t	0.103

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事																					
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項																						
						名称	単位	数量																				
プレキャストボックス 分岐楯(夜間)	1.2タイプ 内幅 0.6 m 内高 0.415m RC-40	個		5		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無； モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費 用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	1	m <sup>3</sup>	0.035	m <sup>2</sup>	1.398	個	1														
ベルマウス		式		1		●ベルマウス(沈下埋設型) HIVP φ 125 ●ベルマウス(沈下埋設型) HIVP φ 100 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 受口付ベルマウス HIVP φ 100 (電共用) ●ベルマウス(沈下埋設型) PV φ 75 ●ベルマウス(沈下埋設型) PV φ 50 ●ベルマウス(沈下埋設型) VP φ 250 ●ベルマウス(沈下埋設型) VP φ 150 ●ベルマウス(沈下埋設型) VP φ 100 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径 1 00 (電共用) ●ベルマウス(沈下埋設型) FEP φ 100用 ●ベルマウス(沈下埋設型) SFP φ 100用	個	32	個	32	個	10	個	44	個	33	個	8	個	8	個	8	個	10	個	4	個	4
情報ボックス工		式		1																								

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
作業土工		式		1					
床掘り (夜間)		m3		110		< 1 m3当り > 床掘り	m 3	1	
残土処理 (夜間)	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		100		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m 3	1	
埋戻し (夜間)		m3		10		< 1 m3当り > 埋戻し	m 3	1	
埋戻し (夜間)		m3		40		< 1 m3当り > 埋戻し 中埋材(材料費) 中埋材料=砂;	m 3 m 3	1 1	
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		164		< 1 m当り > 埋設部管路材設置 本体管の材質=合成樹脂製; さや管の材質=VU管類; 設置区分=本体管及びさや管設置; さや管の条数=10管;	m	1	
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		31		< 1 m当り > 埋設部管路材設置 本体管の材質=鋼製; 設置区分=本体管設置;	m	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		164		< 1 m当り > 埋設表示シート (材料費)	m	1	
敷砂 (夜間)		m3		16		< 1 m3当り > 埋戻し 中埋材 (材料費) 中埋材料=砂;	m 3 m 3	1 1	
管路防護工		式		1					
防護コンクリート (夜間)		箇所		1		コンクリート 構造物種別=小型構造物; 施工条件=打設地上高さ2m以下; コンクリート規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=小型構造物; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ク ラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m 3 m 2 m 2	0.5 1 3.6	
ハンドホール工		式		1					
ハンドホール (夜間)	B1000×H1000×L1500	箇所		1		ハンドホール クレーン機種=トラック(クレーン装置付)4t積・2.9t吊; ハンドホール蓋 (材料費) モルタル練 セメント種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ク ラッシュラン 40~0;	個 枚 m 3 m 2	1 1 0.065 2.466	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ハンドホール (夜間)	B600×H1100×L600	箇所		2		< 1 箇所当り > ハンドホール クレーン機種=トラック(クレーン装置付)4t積・2.9t吊; モルタル練 セメント種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0;	個	1	
道路改良 (上り線 2工区)		式		1					
道路土工		式		1					
残土処理工		式		1					
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		43		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=バックホ山積0.45m3(平積0.35m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m3	1	
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		7		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称			単位	数量
排水構造物工		式		1						
作業土工		式		1						
床掘り (夜間)	土砂	m3		290		< 1 m3当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=平均施工幅1m以上2m未満； 土留方式の種類=無し；障害の有無=障害無し；	m 3		1	
床掘り (夜間)	土砂	m3		20		< 1 m3当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=上記以外(小規模)；費用 の内訳=全ての費用；	m 3		1	
埋戻し (夜間)	土砂	m3		220		< 1 m3当り > 埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満；	m 3		1	
埋戻し (夜間)	土砂	m3		10		< 1 m3当り > 埋戻し 施工方法=上記以外(小規模)；土質区分=土砂；費用 の内訳=全ての費用；	m 3		1	
基面整正 (夜間)		m2		83		< 1 m2当り > 基面整正	m 2		1	
側溝工		式		1						
縁石管渠A1 (夜間)	φ150	m		44		< 1 m当り > 路側側溝設置(D150 L1000)	m		1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
縁石管渠D(L) (夜間)	φ 150	m		0.5		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠D(R) (夜間)	φ 150	m		0.5		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠枿A (夜間)	φ 150	箇所		2		< 1 箇所当り > プレキャスト集水枿 作業区分=据付; 製品質量(kg/基)=80kgを超え400kg以下; 基礎碎石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用; プレキャスト集水枿 (材料費)	基	1	
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H600	m		78		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り; 規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下; 時間的制約の有無=無し; 基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種); 基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m <sup>3</sup> /10m; 基礎碎石施工の有無=有り; 基礎碎石の種類=再生クラッシュ 40~0; 基礎碎石設計数量(実数入力)=0.465 m <sup>3</sup> /10m; 底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種); 底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.292 m <sup>3</sup> /10m; 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し;	m	10	
							枚	10	



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称		単 位	数 量
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H800	m		13		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.292 m3/10m；		m	10
						蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；		枚	10
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H900	m		36		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.292 m3/10m；		m	10
						蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；		枚	10

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H1000	m		6		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.292 m3/10m； 蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；	m	10	枚	10
管渠工		式		1						
鉄筋コンクリート台付管 (夜間)	φ300	m		15		< 10 m当り > 鉄筋コンクリート台付管 作業区分=据付；管径=300mm；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用；	m	10	m <sup>3</sup>	0.072
舗装工		式		1						
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1						

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生クラッシュレン RC-40 仕上り厚 200mm	m2		377		< 1 m2当り > 下層路盤(車道・路肩部) 平均厚さ=175mmを超え200mm以下; 材料=再生クラッシュレン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		377		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=粒度調整砕石 M-40; 平均厚さ=125mmを超え150mm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		377		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=路盤材(各種); 平均厚さ=75mmを超え85mm以下; 平均幅員=1.4m以上; 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asホリマ改質 I 型(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		377		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
排水性舗装・表層(車道・路肩部) (夜間)	ポーラスAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以上	m2		377		< 1 m2当り > 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 平均施工幅員=2.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(65mm未満)(実数入力)=50 mm; 導水パイプの設置=無し; 材料=各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満); 瀝青材料の規格=タックコート PKR(ゴム入り);	m 2	1	
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1					
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		507		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）					( 当 初 )	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュレン RC-30 仕上り厚 100mm	m2		507		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生クラッシュレン RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40mm	m2		507		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	m 2	1		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1						
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		59		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	m 2	1		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュレン RC-40 仕上り厚 150mm	m2		59		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生クラッシュレン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
表層 (夜間)	透水性As 1.4m以上 舗装厚 50mm	m2		59		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	m 2	1		
縁石工		式		1						
縁石工		式		1						

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
歩車道境界ブロック 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300 ×600)	m		105		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=C種(180/210×300×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 縁石工B（夜間）	B種(180/205×250 ×600)	m		24		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=B種(180/205×250×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250 ×600)	m		27		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=B種(180/205×250×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 縁石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300 ×600)	m		7		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=C種(180/210×300×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 縁石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300 ×600)	m		5		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=C種(180/210×300×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
道路付属施設工		式		1					
照明工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.372	
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		3		< 1 基当り > 抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.641	
照明柱 R-6(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
照明柱 R-7(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
照明柱 R-9(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
照明柱 R-10(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
構造物撤去工		式		1					
構造物取壊し工		式		1					
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		940		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m2	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
運搬処理工		式		1						
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		42		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下；費用の内訳=全ての費用；		m 3	1	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		42		< 1 m3当り > 処分費 (m 3)		m 3	1	
直接工事費		式		1						
共通仮設費		式		1						
共通仮設費		式		1						
運搬費		式		1						
仮設材運搬費		t		176.7		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み，取卸し(片道分)；		t	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項								
						名称	単位	数量						
準備費		式		1										
試掘		箇所		4		< 1 箇所当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=現場制約あり； 埋戻し 施工方法=現場制約あり；土質区分=土砂；締固めの有無=有り； 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用； 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 3	3.285	m 3	3.06	m 2	2.25	m 2	2.25
技術管理費		式		1										
道路施設基本データ作成費用		式		1		道路施設基本データ作成費用	式		1					
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地								
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；除雪工補正=補正無；週休2日の補正=しない								
純工事費		式		1										



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休2日の補正=しない			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

## 見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象	管理費区分7 間接労務費対象労務費					
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名	安来電線共同溝PFI事業（2工区）（当初）				事業区分	共同溝・電線共同溝			
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3	56	○					
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3	42	○					
道路施設基本データ作成費用		式	1					○	

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名 安来電線共同溝PFI事業（3工区）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 中国地方整備局  
松江国道事務所 管理第二課

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
電線共同溝 (上り線 3工区)		式		1						
仮設工		式		1						
路面覆工		式		1						
覆工板・覆工板受桁 (夜間)	設置・撤去					覆工板・受桁設置・撤去（設置面積700m <sup>2</sup> 以下） 作業区分=設置・撤去；ラフテレンクレーン賃料補正=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正(実数入力)=1.3 無； 覆工板・鋼製マット賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製滑り止め 従来型)；供用月数(実数入力)=10 月；継続工事の有無=無；修理費及び損耗費の計上=有；一現場での使用回数(実数入力)=4 回； 山留材賃料 火打ブロックの有無=無；供用日数(実数入力)=296 日；継続工事の有無=無；主部材修理費及び損耗費の計上=有；主部材一現場での使用回数(実数)=4 回/現場；副部材A修理費及び損耗費の計上=有；副部材A一現場での使用回数(実)=4 回/現場；副部材Bの計上=有；副部材B一現場での使用回数(実)=4 回/現場；	m <sup>2</sup>	68	68	
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1						
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クワッシュン RC-30 仕上り厚 100mm					< 1 m <sup>2</sup> 当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生クワッシュン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m <sup>2</sup>	276	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
表層(歩道部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 40mm 1.4m以上	m2		276		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=フライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1					
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		269		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50m)	m2		269		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=フライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	LSP-2 L=2.5m	m		539		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(LSP-2 L=2.5m)	m m	539 20	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.0m	枚		278		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.0m 軽作業4回)	枚 枚 枚	278 278 70	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.5m	枚		215		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.5m 軽作業4回)	枚 枚 枚	215 215 54	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.0m	枚		384		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下)	枚	384		
						軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下)	枚	384		
						軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.0m 軽作業4回)	枚	96		
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.5m	枚		148		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長6m以下)	枚	148		
						軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長6m以下)	枚	148		
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体(圧入)	回	4		
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体(引抜)	回	4		
						軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.5m 軽作業4回)	枚	37		
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板 長さ 6m 鋼矢板 打込長 5.5m 平 均鋼矢板引抜長 5 .5m	枚		252		鋼矢板圧入(Nmax ≤ 25)	枚	252		
						施工場所=陸上；鋼矢板型式=III型；圧入長=6m以下 ；ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2次基準値)； 油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	4		
						作業区分=圧入(Nmax ≤ 25)；鋼矢板型式=III型；施 工場所=陸上；ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2 次基準値)；	枚	252		
						鋼矢板引抜き 施工場所=陸上；鋼矢板型式=III型；引抜長=6m以下 ；ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2次基準値)； 油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	4		
						作業区分=引抜き；鋼矢板型式=III型；施工場所=陸 上；ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2次基準値)；	枚	63		
						鋼矢板賃料(普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=III型；鋼矢板1枚当りの長さ(実数入 力)=6 m/枚；供用日数(実数入力)=296 日；継続工 事の有無=無；修理費及び損耗費の有無=有；作業区 分=軽作業；一現場での使用回数(実数入力)=4 回；	枚	63		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板 長さ 6.5m 鋼矢 板打込長 6m 平 均鋼矢板引抜長 6 m	枚		166		鋼矢板圧入 (N m a x ≤ 2 5) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下 ; ラフテレーンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下 ; ラフテレーンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入 力)=6.5 m/枚; 供用日数(実数入力)=296 日; 継続 工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業 区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回 ;	枚	166		
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板 長さ 7m 鋼矢板 打込長 6.5m 平 均鋼矢板引抜長 6 .5m	枚		49		鋼矢板圧入 (N m a x ≤ 2 5) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=9m以下 ; ラフテレーンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=9m以下 ; ラフテレーンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入 力)=7 m/枚; 供用日数(実数入力)=296 日; 継続工 事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区 分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回;	枚	49		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板 長さ 7.5m 鋼矢 板打込長 7m 平 均鋼矢板引抜長 7 m	枚		45		鋼矢板圧入 (N m a x ≤ 2 5) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=9m以下 ; ラフテレンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=9m以下 ; ラフテレンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入 力)=7.5 m/枚; 供用日数(実数入力)=296 日; 継続 工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業 区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回 ;	枚	45	
切梁・腹起し (夜間)		t		40.7		切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置・撤去; 火打ブロックの有無=無; ラフテレン クレーン賃料補正=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正(実数 入力)=1.3 無; 山留材賃料 火打ブロックの有無=無; 供用日数(実数入力)=296 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計 上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=4 回/現 場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A 一現場での使用回数(実)=4 回/現場; 副部材Bの計 上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=4 回/現場 ;	t	40.7	
横矢板 (夜間)	横矢板厚さ 0.03 m	m2		7		< 1 m2当り > 横矢板設置・撤去 作業区分=設置; 横矢板の厚さ(実数入力)=0.03 m;	m 2	1	
固結工		式		1					



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
薬液注入 (夜間)		本		24		二重管ストレーナ工法 注入方式=複相方式; セット数=2セット; レキ質土の削孔長(実数入力)=0 m; 砂質土の削孔長(実数入力)=4.602 m; 粘性土の削孔長(実数入力)=0 m; 土被り長(L2)(実数入力)=1 m; 1本当り注入量(QS)(実数入力)=983 L/本; 水ガラス積算流量計の有無=無; 特許料の有無=無;	本	12	
						二重管ストレーナ工法 注入方式=複相方式; セット数=2セット; レキ質土の削孔長(実数入力)=0 m; 砂質土の削孔長(実数入力)=5.029 m; 粘性土の削孔長(実数入力)=0 m; 土被り長(L2)(実数入力)=1 m; 1本当り注入量(QS)(実数入力)=1,269 L/本; 水ガラス積算流量計の有無=無; 特許料の有無=無;	本	12	
						注入設備の据付・解体 注入方式=二重管ストレーナ工法; セット数=2セット;	現場	1	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員		人日		200		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1	
交通誘導警備員		人日		1,800		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破碎工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		48		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		48		処分費 (m 3)	m 3	48	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m		690		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm超30cm以下	m		330		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm超35cm以下	m2		560		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cmを超え35cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削 (夜間)		m3		930		< 1 m3当り > 床掘り	m 3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締固め (夜間)	土砂	m3		500		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=土砂;	m 3	1	
埋戻し・締固め (夜間)	中埋砂	m3		180		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	m 3	1	
残土処理工		式		1					
土砂等運搬 (夜間)		m3		380		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=6.0km以下；	m 3	1	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		333		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		355		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		418		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50 mm	m		208		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100 mm	m		68		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150 mm	m		113		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250 mm	m		81		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`デ`イ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		441		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		424		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		429		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		132		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		107		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		94		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		108		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 125mm	m		40		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		57		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 75mm	m		40		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 50mm	m		10		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		24		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 150mm	m		14		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 250mm	m		10		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-2 50P	個		1,947		< 1 個当り > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-150P	個		1,972		< 1 個当たり > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,138		< 1 個当たり > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	PV管用 φ50-95P	個		240		< 1 個当たり > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ100-150P	個		162		< 1 個当たり > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ150-220P	個		158		< 1 個当たり > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ250-350P	個		208		< 1 個当たり > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
中間継手 (夜間)	HIVP φ125用	個		16		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 半割継手 HIVP φ125（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	HIVP φ100用	個		20		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 半割継手 HIVP φ100（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	PV φ75用	個		25		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 PV φ75（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	PV φ50用	個		18		< 1 個当たり > 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 PV φ50用	個	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		7		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 VPφ100 (電共用)	個	1	
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 VPφ150 (電共用)	個	1	
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		1		通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 スライド管 VPφ250	個	1	
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		3		< 1 個当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`デ`イ管(φ250mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30))；	m	1.2	
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		1		管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`デ`イ管(φ250mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30))；	m	1.14	
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		684		< 1 m当り > 埋設標識シート設置(W=300 2倍)	m	1	
敷砂 (夜間)		m3		18		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=中埋砂；	m3	1	
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事											
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項												
						名称	単位	数量										
プレキャストボックス (夜間)	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L3700) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1 800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュアレン 40～0；費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般 構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場 合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正 =無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基	1	個	1	個	1	m 3	1.238	m 2	4.95	t	0.087



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事											
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項												
						名称	単位	数量										
プレキャストボックス (夜間)	4.5タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L4500) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1 800×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュアレン 40～0；費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般 構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場 合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正 =無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基	1	個	1	個	1	m 3	1.519	m 2	6.075	t	0.103

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	4.5タイプ S型 内幅 1.3m 内高 1.8 m RC-40	個		1		従来型(W1300×H1800×L4500)	基	1	
	ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付					個	1		
						●プレキャストボックス S型MH W1300×H1800×L4500	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～	個	1	
						コンクリート	m 3	1.958	
						構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m <sup>3</sup> /日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；			
						基礎砕石	m 2	19.584	
						砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク			
						ラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；			
プレキャストボックス (夜間)	3.7タイプ S型 内幅 1.3m 内高 2.2 m RC-40	個		1		従来型(W1300×H2200×L3700)	基	1	
	ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付					個	1		
						●プレキャストボックス S型MH W1300×H2200×L3700	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～	個	1	
						コンクリート	m 3	1.728	
						構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m <sup>3</sup> /日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；			
						基礎砕石	m 2	17.28	
						砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク			
						ラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；			

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項								
						名称	単位	数量						
プレキャストボックス 分岐枠(夜間)	1.2タイプ 内幅 0.6 m 内高 0.415m RC-40	個		3		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無； モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生クワッパラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	m 3	0.035	m 2	1.398	個	1

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ベルマウス						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ125 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 受口付ベルマウス H I V P φ 1 2 5 (電共用)	個	16	
						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ100 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 受口付ベルマウス H I V P φ 1 0 0 (電共用)	個	19	
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ75 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ PVφ75 (電共用)	個	27	
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ50 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ PVφ50 (電共用)	個	19	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ250 ベルマウス VPφ250	個	4	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ150 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径150 (電共用)	個	4	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径100 (電共用)	個	4	
						ベルマウス 波付硬質電線管用付属品 (FEP用) 100mm	個	10	
		式		1		ベルマウス SFPφ100用	個	1	
情報ボックス工		式		1					
作業土工		式		1					
床掘り (夜間)		m3		110		< 1 m3当り > 床掘り	m3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
残土処理 (夜間)	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		100		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m 3	1		
埋戻し (夜間)		m3		10		< 1 m3当り > 埋戻し	m 3	1		
埋戻し (夜間)		m3		40		< 1 m3当り > 埋戻し 中埋材(材料費) 中埋材料=砂;	m 3 m 3	1 1		
管路工(管路部)		式		1						
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		155		< 1 m当り > 埋設部管路材設置 本体管の材質=合成樹脂製; さや管の材質=VU管類; 設置区分=本体管及びさや管設置; さや管の条数=10管;	m	1		
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		44		< 1 m当り > 埋設部管路材設置 本体管の材質=鋼製; 設置区分=本体管設置;	m	1		
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		155		< 1 m当り > 埋設表示シート(材料費)	m	1		
敷砂 (夜間)		m3		15		< 1 m3当り > 埋戻し 中埋材(材料費) 中埋材料=砂;	m 3 m 3	1 1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
道路改良 (上り線 3工区)		式		1						
道路土工		式		1						
残土処理工		式		1						
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		40		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準；積込機種・規格=バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下；	m 3	1		
排水構造物工		式		1						
作業土工		式		1						
床掘り (夜間)	土砂	m3		280		< 1 m3当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=平均施工幅1m以上2m未満；土留方式の種類=無し；障害の有無=障害無し；	m 3	1		
埋戻し (夜間)	土砂	m3		210		< 1 m3当り > 埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m以上4m未満；	m 3	1		
基面整正 (夜間)		m2		74		< 1 m2当り > 基面整正	m 2	1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
側溝工		式		1						
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H700	m		43		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m <sup>3</sup> /10m；基礎碎石施工の有無=有り；基礎碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎碎石設計数量(実数入力)=0.465 m <sup>3</sup> /10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.292 m <sup>3</sup> /10m； 蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；	m	10	枚	10

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称		単 位	数 量
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H800	m		29		< 10 m当り > 自由勾配側溝		m	10
						夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m <sup>3</sup> /10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m <sup>3</sup> /10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.292 m <sup>3</sup> /10m；		枚	10
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H900	m		12		< 10 m当り > 自由勾配側溝		m	10
						夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m <sup>3</sup> /10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m <sup>3</sup> /10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.292 m <sup>3</sup> /10m；		枚	10



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H1000	m		20		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m <sup>3</sup> /10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m <sup>3</sup> /10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.292 m <sup>3</sup> /10m； 蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；	m	10	枚	10
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H1100				14		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m <sup>3</sup> /10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m <sup>3</sup> /10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.292 m <sup>3</sup> /10m； 蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；	m	10	枚

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H1200	m		1		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m <sup>3</sup> /10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m <sup>3</sup> /10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.292 m <sup>3</sup> /10m； 蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；	m	10	枚	10
管渠工		式		1						
鉄筋コンクリート台付管 (夜間)	φ300	m		12		< 10 m当り > 鉄筋コンクリート台付管 作業区分=据付；管径=300mm；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用；	m	10	m <sup>3</sup>	0.072
舗装工		式		1						
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1						

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生クラッシュ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		269		< 1 m2当り > 下層路盤(車道・路肩部) 平均厚さ=175mmを超え200mm以下; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整碎石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		269		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=粒度調整碎石 M-40; 平均厚さ=125mmを超え150mm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		269		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=路盤材(各種); 平均厚さ=75mmを超え85mm以下; 平均幅員=1.4m以上; 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asホリマ改質 I 型(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		269		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
排水性舗装・表層(車道・路肩部) (夜間)	ポーラスAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以上	m2		269		< 1 m2当り > 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 平均施工幅員=2.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(65mm未満)(実数入力)=50 mm; 導水パイプの設置=無し; 材料=各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満); 瀝青材料の規格=タックコート PKR(ゴム入り);	m 2	1	
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1					
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		1,610		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）					( 当 初 )	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュレン RC-30 仕上り厚 100mm	m2		1,610		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生クラッシュレン RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40mm	m2		1,610		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	m 2	1		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1						
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		317		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	m 2	1		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュレン RC-40 仕上り厚 150mm	m2		317		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生クラッシュレン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
表層 (夜間)	透水性As 1.4m以上 舗装厚 50mm	m2		317		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	m 2	1		
縁石工		式		1						
縁石工		式		1						

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
歩車道境界ブロック 緑石工A（夜間）	C種(180/210×300 ×600)	m		129		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=C種(180/210×300×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 緑石工B（夜間）	B種(180/205×250 ×600)	m		34		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=B種(180/205×250×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 緑石工C（夜間）	B種(180/205×250 ×600)	m		40		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=B種(180/205×250×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 緑石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300 ×600)	m		7		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=C種(180/210×300×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 緑石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300 ×600)	m		8		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=C種(180/210×300×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
道路付属施設工		式		1					
照明工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		4		< 1 基当たり > 抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り； 時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費 (H形鋼杭)	回	1	
照明柱 R-12(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
照明柱 R-13(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
照明柱 R-15(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
照明柱 R-16(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
構造物撤去工		式		1					
構造物取壊し工		式		1					
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		2,190		< 1 m2当たり > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版； 障害等の有無=無し； 騒音振動対策=必要； 舗装版厚=15cm以下； 積込作業の有無=有り； 費用の内訳=全ての費用；	m2	1	
運搬処理工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		90		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		90		< 1 m3当り > 処分費 (m 3)	m 3	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					
仮設材運搬費		t		186.4		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み、取卸し費 作業区分=積込み、取卸し(片道分)；	t t	1 1	
準備費		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
試掘						< 1 箇所当り > 床掘り 土質区分=土砂； 施工方法=現場制約あり； 埋戻し 施工方法=現場制約あり； 土質区分=土砂； 締固めの有無=有り； 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下； 材料=再生クラッシュラン RC-40； 費用の内訳=全ての費用； 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm； 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)； 瀝青材料種類=プライムコート PK-3； 費用の内訳=全ての費用；			
事業損失防止施設費		箇所		4					
事業損失防止施設費 (夜間)		式		1					
事業損失防止施設費 (夜間)		式		1		機械ボーリング工 観測井戸設置	m m		11.6 11.6
技術管理費		式		1					
道路施設基本データ作成費用		式		1		道路施設基本データ作成費用	式		1
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地			
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）； 除雪工補正=補正無； 週休2日の補正=しない			



## 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休2日の補正=しない			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象	管理費区分7 間接労務費対象労務費					
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名	安来電線共同溝PFI事業（3工区）（当初）				事業区分	共同溝・電線共同溝			
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3	48	○					
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3	90	○					
事業損失防止施設費 (夜間)		式	1					○	
道路施設基本データ作成費用		式	1					○	

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名      安来電線共同溝PFI事業（4工区）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 中国地方整備局  
松江国道事務所 管理第二課

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
電線共同溝 (上り線 4工区)		式		1						
仮設工		式		1						
路面覆工		式		1						
覆工板・覆工板受桁 (夜間)	設置・撤去					覆工板・受桁設置・撤去（設置面積700m <sup>2</sup> 以下） 作業区分=設置・撤去；ラフテレンクレーン賃料補正=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正(実数入力)=1.3 無； 覆工板・鋼製マット賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製滑り止め 従来型)；供用月数(実数入力)=12 月；継続工事の有無=無；修理費及び損耗費の計上=有；一現場での使用回数(実数入力)=9 回； 山留材賃料 火打ブロックの有無=無；供用日数(実数入力)=373 日；継続工事の有無=無；主部材修理費及び損耗費の計上=有；主部材一現場での使用回数(実数)=9 回/現場；副部材A修理費及び損耗費の計上=有；副部材A一現場での使用回数(実)=9 回/現場；副部材Bの計上=有；副部材B一現場での使用回数(実)=9 回/現場；	m <sup>2</sup>	47		47
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1						
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-30 仕上り厚 100mm					< 1 m <sup>2</sup> 当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生クラッシュ RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m <sup>2</sup>	399		1

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
表層(歩道部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 40mm 1.4m以上	m2		399		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=フライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1					
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		380		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50m)	m2		380		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=フライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	LSP-2 L=2.5m	m		492		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(LSP-2 L=2.5m)	m m	492 20	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=3.5m	枚		9		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=3.5m 軽作業9回)	枚 枚 枚	9 9 1	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.0m	枚		292		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.0m 軽作業9回)	枚 枚 枚	292 292 32	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称	単 位	数 量	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.5m	枚		284		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下)	枚	284	
						軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下)	枚	284	
						軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.5m 軽作業9回)	枚	32	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.0m	枚		631		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下)	枚	631	
						軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下)	枚	631	
						軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.0m 軽作業9回)	枚	70	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.5m	枚		578		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長6m以下)	枚	578	
						軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長6m以下)	枚	578	
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体(圧入)	回	9	
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体(引抜)	回	9	
						軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.5m 軽作業9回)	枚	64	
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板 長さ 6m 鋼矢板 打込長 5.5m 平 均鋼矢板引抜長 5 .5m	枚		181		鋼矢板圧入(Nmax ≤ 25)	枚	181	
						施工場所=陸上；鋼矢板型式=III型；圧入長=6m以下 ；ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2次基準値)； 油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	9	
						作業区分=圧入(Nmax ≤ 25)；鋼矢板型式=III型；施 工場所=陸上；ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2 次基準値)；	枚	181	
						鋼矢板引抜き 施工場所=陸上；鋼矢板型式=III型；引抜長=6m以下 ；ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2次基準値)； 油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	9	
						作業区分=引抜き；鋼矢板型式=III型；施工場所=陸 上；ラフテレックレン規格=排出ガス対策型(第2次基準値)； 鋼矢板賃料(普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=III型；鋼矢板1枚当りの長さ(実数入 力)=6 m/枚；供用日数(実数入力)=373 日；継続工 事の有無=無；修理費及び損耗費の有無=有；作業区 分=軽作業；一現場での使用回数(実数入力)=9 回；	枚	20	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板 長さ 6.5m 鋼矢 板打込長 6m 平 均鋼矢板引抜長 6 m	枚		44		鋼矢板圧入 (N m a x ≤ 2 5) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下 ; ラフテレンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下 ; ラフテレンクレーン規格=排出ガス対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入 力)=6.5 m/枚; 供用日数(実数入力)=373 日; 継続 工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業 区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=9 回 ;	枚	44	5
切梁・腹起し (夜間)			t		42.2		切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置・撤去; 火打ブロックの有無=無; ラフテレン クレーン賃料補正=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正(実数 入力)=1.3 無; 山留材賃料 火打ブロックの有無=無; 供用日数(実数入力)=373 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計 上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=9 回/現 場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A 一現場での使用回数(実)=9 回/現場; 副部材Bの計 上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=9 回/現場 ;	t	42.2
横矢板 (夜間)	横矢板厚さ 0m	m2		3		< 1 m2当り > 横矢板設置・撤去 作業区分=設置・撤去; 横矢板の厚さ(実数入力)=0.0 3 m;	m 2	3	1
固結工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
薬液注入 (夜間)		本		12		二重管ストレーナ工法 注入方式=複相方式; セット数=2セット; レ質土の削孔長(実数入力)=0 m; 砂質土の削孔長(実数入力)=4.368 m; 粘性土の削孔長(実数入力)=0 m; 土被り長(L2)(実数入力)=1 m; 1本当り注入量(QS)(実数入力)=849 L/本; 水ガラス積算流量計の有無=無; 特許料の有無=無; 注入設備の据付・解体 注入方式=二重管ストレーナ工法; セット数=2セット;	本	12	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員		人日		240		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1	
交通誘導警備員		人日		2,160		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破碎工		式		1					
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		59		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m3	1	



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		59		処分費 (m3)	m3	59	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m		1,320		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 舗装厚 180mm	m		260		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm超35cm以下	m2		780		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cmを超え35cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削 (夜間)		m3		1,400		< 1 m3当り > 床掘り	m3	1	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締め (夜間)	土砂	m3		670		< 1 m3当り > 埋戻し・締め 土質=土砂;	m3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
埋戻し・締固め (夜間)	中埋砂	m3		290		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	m 3	1		
残土処理工		式		1						
土砂等運搬 (夜間)		m3		640		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) ) (DID区間有)=6.0km以下；	m 3	1		
電線共同溝工		式		1						
管路工(管路部)		式		1						
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		490		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		449		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		514		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		323		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		105		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150 mm	m		109		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250 mm	m		89		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テ`イ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		484		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		509		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		513		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		177		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		126		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		123		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		130		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テ`イ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		6		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		6		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-2 50P	個		2,239		< 1 個当り > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-1 50P	個		2,081		< 1 個当り > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,256		< 1 個当り > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	PV管用 φ50-95P	個		368		< 1 個当り > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ100-150 P	個		178		< 1 個当り > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ150-220 P	個		174		< 1 個当り > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ250-350 P	個		312		< 1 個当り > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
中間継手 (夜間)	HIVP φ125用	個		32		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 半割継手 HIV P φ125（電共用）	個	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
中間継手 (夜間)	HIVP φ100用	個		36		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 半割継手 HIVP φ100 (電共用)	個	1	
中間継手 (夜間)	PV φ75用	個		37		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 PV φ75 (電共用)	個	1	
中間継手 (夜間)	PV φ50用	個		32		< 1 個当り > 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 PV φ50用	個	1	
中間継手 (夜間)	VP φ100用	個		11		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 VP φ100 (電共用)	個	1	
中間継手 (夜間)	VP φ150用	個		5		< 1 個当り > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 VP φ150 (電共用)	個	1	
中間継手 (夜間)	VP φ250用	個		5		< 1 個当り > 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 スライド管 VP φ250	個	1	
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		5		< 1 個当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ボディ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1.2	
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		5		< 1 個当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ボディ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1.14	
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		812		< 1 m当り > 埋設標識シート設置(W=300 2倍)	m	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称		単 位	数 量
敷砂 (夜間)		m3		30		< 1 m3当り > 埋戻し・締め 土質=中埋砂;		m 3	1
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1					
プレキャストボックス (夜間)	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L3700) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1 800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; コンクリート規格=各 種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無= 無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13; 規格・仕様区分=一般 構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場 合の補正=無; 夜間作業補正=有; トンネル内作業の補正 =無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正 無(一般構造物);		基 個 個 個 m 3 m 2 t	1 1 1 1 1.238 4.95 0.087

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	4.5タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L4500) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1 800×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュアレン 40～0；費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般 構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場 合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正 =無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基 個 個 個 m 3 m 2 t	1 1 1 1 1.519 6.075 0.103	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事													
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項														
						名称	単位	数量												
プレキャストボックス (夜間)	4.5タイプ L型 内幅 1.35/2.15m 内 高 1.8m RC-40	個		2		< 1 個当り > 沈下埋設工(W1350/2150×H1800×L4500) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 L型MH W1350/215 0×H1800×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物； 施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下； コンクリート規格=各 種； 養生工の種類=一般養生； 現場内小運搬の有無= 無し； 費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下； 砕石の種類=再生ク ラッシュン 40～0； 費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13； 規格・仕様区分=一般 構造物； 施工規模=10t未満； 時間的制約を受ける場 合の補正=無； 夜間作業補正=有； トンネル内作業の補正 =無； 法面作業の補正=無； 太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)； 構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基	1	個	1	個	1	個	1	m 3	2.5	m 2	10	t	0.157



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス (夜間)	3.7タイプ S型 内幅 1.3m 内高 1.8 m RC-40	個		1		従来型(W1300×H1800×L3700) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装 置付 ●プレキャストボックス S型MH W1300×H1800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；碎石の種類=再生ク ラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；	基  個 個  個 m 3  m 2	1  1 1  1.698  16.98		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	2.2タイプ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1000×H1500×L2200)	基	1	
						ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装置付	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1000×H1500×L2200	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500 H=205	個	1	
						コンクリート	m 3	0.55	
						構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m <sup>3</sup> /日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；	m 2	2.2	
							t	0.041	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	2.2タイプ 路上変圧 器用 内幅 1m 内 高 1.5m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1000×H1500×L2200) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1000×H1500×L2200 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 95 0×300 H=855 コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物； 施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下； コンクリート規格=各 種； 養生工の種類=一般養生； 現場内小運搬の有無= 無し； 費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下； 砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0； 費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13； 規格・仕様区分=一般 構造物； 施工規模=10t未満； 時間的制約を受ける場 合の補正=無； 夜間作業補正=有； トンネル内作業の補正 =無； 法面作業の補正=無； 太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)； 構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基  個  個  個  個  m 3  m 2  t	1  1  1  1  0.55  2.2  0.041	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	2.2タイプ 高压開閉器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40			2		< 1 個当たり >			
						沈下埋設工(W1000×H1500×L2200)	基	1	
						ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1000×H1500×L2200	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 750×300 H=855	個	1	
						コンクリート	m 3	0.55	
						構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m <sup>3</sup> /日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；			
						基礎砕石	m 2	2.2	
						砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；			
						鉄筋工 [市場単価]	t	0.041	
						鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；			

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス 通信基点柵(夜間)	2.2タイプ 内幅 0.9 5m 内高 1.5m R C-40	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg超～4000kg以下；ラフ テレシークレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレシークレーン賃料 補正係数(実数入力)=1.3 無；	組	1	
						蓋設置	組	1	
						蓋1組当り質量=200kg以下；			
						ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装 置付	個	1	
						コンクリート	m 3	1.125	
						構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用；			
						基礎砕石	m 2	7.5	
						砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；			
プレキャストボックス 分岐柵(夜間)	1.2タイプ 内幅 0.6 m 内高 0.415m RC-40	個		2		< 1 個当り >			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレシークレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレシークレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	m 3	0.035	
						モルタル練	m 3	0.035	
						セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費 用；			
						基礎砕石	m 2	1.398	
						砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレシークレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレシークレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；			

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ベルマウス						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ125 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 受口付ベルマウス H I V P φ 1 2 5 (電共用)	個	48	
						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ100 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 受口付ベルマウス H I V P φ 1 0 0 (電共用)	個	8	
						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ100 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 受口付ベルマウス H I V P φ 1 0 0 (電共用)	個	56	
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ75 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ PVφ75 (電共用)	個	12	
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ75 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ PVφ75 (電共用)	個	51	
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ50 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ PVφ50 (電共用)	個	19	
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ50 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ PVφ50 (電共用)	個	55	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ250 ベルマウス VPφ250	個	9	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ250 ベルマウス VPφ250	個	6	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ150 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径150 (電共用)	個	4	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ150 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径150 (電共用)	個	4	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径100 (電共用)	個	6	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径100 (電共用)	個	16	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100 通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径100 (電共用)	個	6	
情報ボックス工		式		1					
作業土工		式		1					
床掘り (夜間)		式		1					
		m3		90		< 1 m3当り > 床掘り	m3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
残土処理 (夜間)	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		80		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m 3	1	
埋戻し (夜間)		m3		8		< 1 m3当り > 埋戻し	m 3	1	
埋戻し (夜間)		m3		30		< 1 m3当り > 埋戻し 中埋材(材料費) 中埋材料=砂;	m 3 m 3	1 1	
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		125		< 1 m当り > 埋設部管路材設置 本体管の材質=合成樹脂製; さや管の材質=VU管類; 設置区分=本体管及びさや管設置; さや管の条数=10管;	m	1	
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		18		< 1 m当り > 埋設部管路材設置 本体管の材質=鋼製; 設置区分=本体管設置;	m	1	
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		125		< 1 m当り > 埋設表示シート(材料費)	m	1	
敷砂 (夜間)		m3		13		< 1 m3当り > 埋戻し 中埋材(材料費) 中埋材料=砂;	m 3 m 3	1 1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路防護工		式		1					
防護コンクリート (夜間)		箇所		1		コンクリート 構造物種別=小型構造物；施工条件=打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=小型構造物； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.3	
ハンドホール工		式		1					
ハンドホール (夜間)	B1000×H1000×L1 500	箇所		1		ハンドホール クレーン機種=トラック(クレーン装置付)4t積・2.9t吊； ハンドホール蓋（材料費） モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュラン 40～0；	個 枚 m 3 m 2	1 1 0.065 2.466	



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ハンドホール (夜間)	B600×H1100×L600	箇所		2		< 1 箇所当り > ハンドホール クレーン機種=トラック(クレーン装置付)4t積・2.9t吊; モルタル練 セメント種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0;	個	1	
道路改良 (上り線 4工区)		式		1					
道路土工		式		1					
残土処理工		式		1					
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		40		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=バックホ山積0.45m3(平積0.35m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m3	1	
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		30		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
排水構造物工		式		1					
作業土工		式		1					
床掘り (夜間)	土砂	m3		280		< 1 m3当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=平均施工幅1m以上2m未満； 土留方式の種類=無し；障害の有無=障害無し；	m 3	1	
床掘り (夜間)	土砂	m3		70		< 1 m3当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=上記以外(小規模)；費用 の内訳=全ての費用；	m 3	1	
埋戻し (夜間)	土砂	m3		210		< 1 m3当り > 埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m以上4m未満；	m 3	1	
埋戻し (夜間)	土砂 土砂	m3		30		< 1 m3当り > 埋戻し 施工方法=上記以外(小規模)；土質区分=土砂；費用 の内訳=全ての費用；	m 3	1	
基面整正 (夜間)		m2		69		< 1 m2当り > 基面整正	m 2	1	
側溝工		式		1					
縁石管渠A1 (夜間)	φ 150	m		94		< 1 m当り > 路側側溝設置(D150 L1000)	m	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
縁石管渠A2 (夜間)	φ 150	m		15		< 1 m当り > 路側側溝設置(D150 L1000)	m	1	
縁石管渠B (夜間)	φ 150	m		39		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg 以上550kg未満); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コ ンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠C (夜間)	φ 150	m		12		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg 以上550kg未満); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コ ンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠D(L) (夜間)	φ 150	m		3		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg 以上550kg未満); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コ ンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠D(R) (夜間)	φ 150	m		3		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg 以上550kg未満); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コ ンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠柵A (夜間)	φ 150	箇所		7		< 1 箇所当り > プレキャスト集水柵 作業区分=据付; 製品質量(kg/基)=80kgを超え400kg 以下; 基礎碎石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費 用; プレキャスト集水柵 (材料費)	基 基	1 1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称		単 位	数 量
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H700	m		27		< 10 m当り > 自由勾配側溝		m	10
						夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m <sup>3</sup> /10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m <sup>3</sup> /10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.327 m <sup>3</sup> /10m；		枚	10
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H800	m		29		< 10 m当り > 自由勾配側溝		m	10
						夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m <sup>3</sup> /10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m <sup>3</sup> /10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.327 m <sup>3</sup> /10m；		枚	10

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H900	m		23		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.327 m3/10m；	m	10	
						蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；	枚	10	
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H1000	m		14		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.327 m3/10m；	m	10	
						蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；	枚	10	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称		単位	数量
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H1100	m		12		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m；基礎碎石施工の有無=有り；基礎碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎碎石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.327 m3/10m；		m	10
						蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；		枚	10
自由勾配側溝 (夜間)	B300-H1400	m		6		< 10 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=有り；規格・仕様区分=L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下；時間的制約の有無=無し；基礎コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.35 m3/10m；基礎碎石施工の有無=有り；基礎碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎碎石設計数量(実数入力)=0.525 m3/10m；底部コンクリートの種類=生コンクリート(各種)；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.327 m3/10m；		m	10
						蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；		枚	10

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） ( 当 初 )					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管渠工		式		1					
鉄筋コンクリート台付管 (夜間)	φ300	m		12		< 10 m当り > 鉄筋コンクリート台付管 作業区分=据付; 管径=300mm; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 セメント種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用;	m	10	
							m 3	0.072	
舗装工		式		1					
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1					
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生クワッシュン RC-40 仕上り厚 200mm	m2		380		< 1 m2当り > 下層路盤(車道・路肩部) 平均厚さ=175mmを超え200mm以下; 材料=再生クワッシュン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		380		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=粒度調整砕石 M-40; 平均厚さ=125mmを超え150mm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		380		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=路盤材(各種); 平均厚さ=75mmを超え85mm以下; 平均幅員=1.4m以上; 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As <sup>ホ</sup> リマ -改質I型(20) 舗 装厚 50mm 1.4m 以上	m <sup>2</sup>		380		< 1 m <sup>2</sup> 当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以 下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m 3未満); 瀝青材料種類=タックコート(各種); 費用の内訳= 全ての費用;	m <sup>2</sup>	1	
排水性舗装・表層(車道・路肩部) (夜間)	ホ <sup>レ</sup> ラスAs(13) 舗装 厚 50mm 2.4m以 上	m <sup>2</sup>		380		< 1 m <sup>2</sup> 当り > 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 平均施工幅員=2.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(65m m未満)(実数入力)=50 mm; 導水パイプ <sup>°</sup> の設置=無し; 材料=各種(2.00t/m <sup>3</sup> 以上2.10t/m <sup>3</sup> 未満); 瀝青材料 の規格=タックコート PKR(ゴム入り);	m <sup>2</sup>	1	
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1					
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上 り厚 50mm	m <sup>2</sup>		533		< 1 m <sup>2</sup> 当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	m <sup>2</sup>	1	
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-3 0 仕上り厚 100m m	m <sup>2</sup>		533		< 1 m <sup>2</sup> 当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生クラッシュ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	1	
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4 m以上 舗装厚 40 mm	m <sup>2</sup>		533		< 1 m <sup>2</sup> 当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以 下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m 3未満);	m <sup>2</sup>	1	
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1					



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上り厚 50mm	m2		312		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	m 2	1		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		312		< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
表層 (夜間)	透水性As 1.4m以上 舗装厚 50mm	m2		312		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	m 2	1		
縁石工		式		1						
縁石工		式		1						
歩車道境界ブロック 縁石工A (夜間)	C種(180/210×300×600)	m		43		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=C種(180/210×300×600); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1		
歩車道境界ブロック 縁石工B (夜間)	B種(180/205×250×600)	m		65		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=B種(180/205×250×600); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
歩車道境界ブロック 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		17		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=B種(180/205×250×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 縁石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		5		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=C種(180/210×300×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
歩車道境界ブロック 縁石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		5		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=C種(180/210×300×600)；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
道路付属施設工		式		1					
照明工		式		1					
照明柱基礎 1号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.311	
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.641	
照明柱基礎 4号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.69	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
照明柱 R-17(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1		
照明柱 R-18(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1		
照明柱 R-19(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1		
構造物撤去工		式		1						
構造物取壊し工		式		1						
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		1,230		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
運搬処理工		式		1						
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		53		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1		
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		53		< 1 m3当り > 処分費 (m 3)	m 3	1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					
仮設材運搬費		t		78.6		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力) )=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み，取卸し(片道分)；	t	1	
準備費		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
試掘						< 1 箇所当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=現場制約あり； 埋戻し 施工方法=現場制約あり；土質区分=土砂；締固めの有無=有り； 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用； 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；			
事業損失防止施設費		箇所		9					
事業損失防止施設費 (夜間)		式		1		機械ボーリング工 観測井戸設置	m m		5.4 5.4
技術管理費		式		1					
道路施設基本データ作成費用		式		1		道路施設基本データ作成費用	式		1
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地			
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；除雪工補正=補正無；週休2日の補正=しない			

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休2日の補正=しない			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象 管理費区分7 間接労務費対象労務費	○：該当する管理費区分が含まれている					
工事名	安来電線共同溝PFI事業（4工区）（当初）				事業区分	共同溝・電線共同溝			
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3	59	○					
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3	53	○					
事業損失防止施設費 (夜間)		式	1					○	
道路施設基本データ作成費用		式	1					○	

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名 安来電線共同溝PFI事業（5工区）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 中国地方整備局  
松江国道事務所 管理第二課



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					工種区分	C・C・BOX工事					
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項						
						名称	単位	数量				
電線共同溝 (上り線 5工区)		式		1								
仮設工		式		1								
路面覆工		式		1								
覆工板・覆工板受桁 (夜間)	設置・撤去					覆工板・受桁設置・撤去（設置面積700m <sup>2</sup> 以下） 作業区分=設置・撤去；ラフテレンクレーン賃料補正=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正(実数入力)=1.3 無； 覆工板・鋼製マット賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製滑り止め 従来型)；供用月数(実数入力)=8.5 月；継続工事の有無=無；修理費及び損耗費の計上=有；一現場での使用回数(実数入力)=3 回； 山留材賃料 火打ブロックの有無=無；供用日数(実数入力)=258 日；継続工事の有無=無；主部材修理費及び損耗費の計上=有；主部材一現場での使用回数(実数)=3 回/現場；副部材A修理費及び損耗費の計上=有；副部材A一現場での使用回数(実)=3 回/現場；副部材Bの計上=有；副部材B一現場での使用回数(実)=3 回/現場；	m <sup>2</sup>	87	m <sup>2</sup>	29	t	1.9

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
敷鉄板 (夜間)	22×1524×3048 設置・撤去	m2		14		敷鉄板設置・撤去 作業区分=設置・撤去；ラフテレンクレーン賃料補正=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正(実数入力)=1.3 無； 敷鉄板賃料 敷鉄板の種類=22×1524×3048；不足分弁償金の有無=無；供用日数(日)(実数入力)=258 日；継続工事の有無=無；整備費の有無=有； 山留材賃料 火打ブロックの有無=無；供用日数(実数入力)=258 日；継続工事の有無=無；主部材修理費及び損耗費の計上=有；主部材一現場での使用回数(実数)=3 回/現場；副部材A修理費及び損耗費の計上=有；副部材A一現場での使用回数(実)=3 回/現場；副部材Bの計上=有；副部材B一現場での使用回数(実)=3 回/現場；	m 2	14	
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1					
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-30 仕上り厚 100mm	m2		223		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生クラッシュ RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(歩道部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 40mm 1.4m以上	m2		223		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュレン RC-40 仕上り厚 150mm	m2		286		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下；材料=再生クラッシュレン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50m)	m2		286		< 1 m2当り > 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=フライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	LSP-2 L=2.5m	m		312		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(LSP-2 L=2.5m)	m m	312 20	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.0m	枚		315		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.0m 軽作業3回)	枚 枚 枚	315 315 105	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.5m	枚		557		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.5m 軽作業3回)	枚 枚 枚	557 557 186	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.0m	枚		266		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.0m 軽作業3回)	枚 枚 枚	266 266 89	
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.5m	枚		130		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長6m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長6m以下) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(圧入) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(引抜) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.5m 軽作業3回)	枚 枚 回 回 枚	130 130 3 3 43	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板 長さ 6m 鋼矢板 打込長 5.5m 平 均鋼矢板引抜長 5 .5m	枚		295		鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25)	枚	295	
						鋼矢板引抜き	枚	295	
切梁・腹起し (夜間)		t		26.9		切梁・腹起し設置・撤去	t	26.9	
						山留材質料	t	7.1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
水路補強工		式		1					
水路補強 (夜間)		式		1		溝形鋼 大形 SS400 8×200×90 コンクリートアンカー M16 L=60 モルタル練 セメント種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用;	t 本 m3	0.182 20 1.3	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員		人日		160		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1	
交通誘導警備員		人日		1,440		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破砕工		式		1					
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		46		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m3	1	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		46		処分費 (m3)	m3	46	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m		700		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm超30cm以下	m		270		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版破砕 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm超35cm以下	m2		510		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cmを超え35cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削 (夜間)		m3		580		< 1 m3当り > 床掘り	m 3	1	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締め (夜間)	土砂	m3		250		< 1 m3当り > 埋戻し・締め 土質=土砂;	m 3	1	
埋戻し・締め (夜間)	中埋砂	m3		120		< 1 m3当り > 埋戻し・締め 土質=中埋砂;	m 3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
残土処理工		式		1						
土砂等運搬 (夜間)		m3		310		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=6.0km以下；	m 3	1		
電線共同溝工		式		1						
管路工(管路部)		式		1						
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		376		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		479		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		522		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		206		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		95		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150mm	m		94		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250 mm	m		125		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		238		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		335		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		357		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		158		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		62		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		80		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		75		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1	
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 125mm	m		36		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		89		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 75mm	m		55		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 50mm	m		18		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		33		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 150mm	m		23		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 250mm	m		18		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホ`テ`イ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-2 50P	個		1,428		< 1 個当り > 管路受台(スペーサ)(材料費)	個	1
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-1 50P	個		1,737		< 1 個当り > 管路受台(スペーサ)(材料費)	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,168		< 1 個当り > 管路受台(スペーサ)(材料費)	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用 φ50-95P	個		316		< 1 個当り > 管路受台(スペーサ)(材料費)	個	1

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ100-150 P	個		138		< 1 個当たり > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ150-220 P	個		146		< 1 個当たり > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
管路管台 (夜間)	VP管用 φ250-350 P	個		251		< 1 個当たり > 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1	
中間継手 (夜間)	HIVP φ125用	個		8		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 半割継手 HIVP φ125（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	HIVP φ100用	個		16		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 半割継手 HIVP φ100（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	PV φ75用	個		10		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 PV φ75（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	PV φ50用	個		3		< 1 個当たり > 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 PV φ50用	個	1	
中間継手 (夜間)	VP φ100用	個		7		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 VP φ100（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	VP φ150用	個		4		< 1 個当たり > 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 中間継手 VP φ150（電共用）	個	1	
中間継手 (夜間)	VP φ250用	個		2		< 1 個当たり > 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 スライド管 VP φ250	個	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		2		< 1 個当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホテイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1.2	
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管 φ250用	個		2		< 1 個当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホテイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50) +2条(φ30))；	m	1.14	
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		679		< 1 m当り > 埋設標識シート設置(W=300 2倍)	m	1	
敷砂 (夜間)		m3		13		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=中埋砂；	m 3	1	
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事											
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項												
						名称	単位	数量										
プレキャストボックス (夜間)	3.7タイプ S型 内幅 1.35m 内高 1.8 m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L3700) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1 800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュアレン 40～0；費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般 構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場 合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正 =無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基	1	個	1	個	1	m 3	1.238	m 2	4.95	t	0.087

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	4.5タイプ L型 内幅 1.35/2.15m 内 高 1.8m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350/2150×H1800×L4500) ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装 置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 L型MH W1350/215 0×H1800×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 96 0×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物； 施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下； コンクリート規格=各 種； 養生工の種類=一般養生； 現場内小運搬の有無= 無し； 費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下； 砕石の種類=再生ク ラッシュアレン 40～0； 費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13； 規格・仕様区分=一般 構造物； 施工規模=10t未満； 時間的制約を受ける場 合の補正=無； 夜間作業補正=有； トンネル内作業の補正 =無； 法面作業の補正=無； 太径鉄筋補正=補正無(鉄 筋割合10%未満含む)； 構造物種別による補正=補正 無(一般構造物)；	基 個 個 個 m 3 m 2 t	1 1 1 1 2.5 10 0.157	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	2.2タイプ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1000×H1500×L2200)	基	1	
						ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施設装置付	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1000×H1500×L2200	個	1	
						●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=205	個	1	
						コンクリート	m 3	0.55	
						構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m <sup>3</sup> /日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；			
						基礎砕石	m 2	2.2	
						砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；			
						鉄筋工 [市場単価]	t	0.041	
						鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；			

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス 通信基点柵(夜間)	2.2タイプ 内幅 0.9 5m 内高 1.5m R C-40	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg超～4000kg以下；ラフ テレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフテレシクレン賃料 補正係数(実数入力)=1.3 無；	組	1	
						蓋設置	組	1	
						蓋1組当り質量=200kg以下；			
						ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装 置付	個	1	
						コンクリート	m 3	1.125	
						構造物種別=無筋・鉄筋構造物；施工条件=打設量10m 3/日未満かつ打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各 種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無= 無し；費用の内訳=全ての費用；			
						基礎砕石	m 2	7.5	
						砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；			
プレキャストボックス 分岐柵(夜間)	1.2タイプ 内幅 0.6 m 内高 0.8m RC -40	個		2		< 1 個当り >	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレシクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレシクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	m 3	0.035	
						モルタル練	m 3	0.035	
						セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費 用；			
						基礎砕石	m 2	1.398	
						砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレシクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレシクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；			

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項								
						名称	単位	数量						
プレキャストボックス 分岐枠(夜間)	1.2タイプ 内幅 0.6 m 内高 0.415m RC-40	個		5		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無； モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生クワッパラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	m 3	0.035	m 2	1.398	個	1



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ベルマウス						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ125	個	23	
						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ100	個	25	
						電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 受口付ベルマウス HIVPφ100 (電共用)	個	30	
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ75	個	29	
						通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ PVφ75 (電共用)	個	6	
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ50	個	31	
						通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ PVφ50 (電共用)	個	7	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ250	個	3	
						ベルマウス VPφ250	個	2	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ150	個	3	
						通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径150 (電共用)	個	2	
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100	個	5	
						通信用硬質塩化ビニル管 ダクトスリーブ 呼び径100 (電共用)	個	14	
情報ボックス工		式		1					
作業土工		式		1					
床掘り (夜間)		m3		90		< 1 m3当り > 床掘り	m3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
残土処理 (夜間)	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		80		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m 3	1		
埋戻し (夜間)		m3		20		< 1 m3当り > 埋戻し	m 3	1		
埋戻し (夜間)		m3		20		< 1 m3当り > 埋戻し 中埋材(材料費) 中埋材料=砂;	m 3 m 3	1 1		
管路工(管路部)		式		1						
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		107		< 1 m当り > 埋設部管路材設置 本体管の材質=合成樹脂製; さや管の材質=VU管類; 設置区分=本体管及びさや管設置; さや管の条数=10管;	m	1		
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		233		< 1 m当り > 埋設部管路材設置 本体管の材質=鋼製; 設置区分=本体管設置;	m	1		
埋設表示シート (夜間)	W=300 2倍	m		107		< 1 m当り > 埋設表示シート(材料費)	m	1		
敷砂 (夜間)		m3		11		< 1 m3当り > 埋戻し 中埋材(材料費) 中埋材料=砂;	m 3 m 3	1 1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路防護工		式		1					
防護コンクリート (夜間)		箇所		1		コンクリート 構造物種別=小型構造物；施工条件=打設地上高さ2m以下；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=小型構造物； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 3	4	
ハンドホール工		式		1					
ハンドホール (夜間)	B600×H1100×L600	箇所		4		< 1 箇所当り > ハンドホール クレーン機種=トラック(クレーン装置付)4t積・2.9t吊； モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生ク ラッシュラン 40～0；	個	1	
道路改良 (上り線 5工区)		式		1			m 3	0.019	
道路土工		式		1			m 2	0.81	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
残土処理工		式		1					
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		4		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準；積込機種・規格=バックホ山積0.45m3(平積0.35m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下；	m 3	1	
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		26		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模；積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下；	m 3	1	
排水構造物工		式		1					
作業土工		式		1					
床掘り (夜間)	土砂	m3		10		< 1 m3当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=平均施工幅1m以上2m未満；土留方式の種類=無し；障害の有無=障害無し；	m 3	1	
床掘り (夜間)	土砂	m3		60		< 1 m3当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=上記以外(小規模)；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
埋戻し (夜間)	土砂	m3		5		< 1 m3当り > 埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満；	m 3	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名 称			単 位	数 量
埋戻し (夜間)	土砂	m3		30		< 1 m3当り > 埋戻し 施工方法=上記以外(小規模); 土質区分=土砂; 費用の内訳=全ての費用;	m 3	1		
基面整正 (夜間)		m2		4		< 1 m2当り > 基面整正	m 2	1		
側溝工		式		1						
縁石管渠A1 (夜間)	φ 150	m		94		< 1 m当り > 路側側溝設置(D150 L1000)	m	1		
縁石管渠B (夜間)	φ 150	m		19		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1		
縁石管渠C (夜間)	φ 150	m		25		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1		
縁石管渠D(L) (夜間)	φ 150	m		3		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1		

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
縁石管渠D(R) (夜間)	φ 150	m		3		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不要;	m	1	
縁石管渠樹A (夜間)	φ 150	箇所		8		< 1 箇所当り > プレキャスト集水樹 作業区分=据付; 製品質量(kg/基)=80kgを超え400kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用; プレキャスト集水樹 (材料費)	基	1	
舗装工		式		1					
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1					
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生クランチャー RC-40 仕上り厚 200mm	m2		286		< 1 m2当り > 下層路盤 (車道・路肩部) 平均厚さ=175mmを超え200mm以下; 材料=再生クランチャー RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		286		< 1 m2当り > 上層路盤 (車道・路肩部) 材料=粒度調整砕石 M-40; 平均厚さ=125mmを超え150mm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		286		< 1 m2当り > 上層路盤 (車道・路肩部) 材料=路盤材(各種); 平均厚さ=75mmを超え85mm以下; 平均幅員=1.4m以上; 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asホリマ -改質I型(20) 舗 装厚 50mm 1.4m 以上	m2		286		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以 下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m 3未満); 瀝青材料種類=タックコート(各種); 費用の内訳= 全ての費用;	m 2	1	
排水性舗装・表層(車道・路肩部) (夜間)	ホーラスAs(13) 舗装 厚 50mm 2.4m以 上	m2		286		< 1 m2当り > 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 平均施工幅員=2.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(65m m未満)(実数入力)=50 mm; 導水パイプの設置=無し; 材料=各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満); 瀝青材料 の規格=タックコート PKR(ゴム入り);	m 2	1	
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1					
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上 り厚 50mm	m2		401		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	m 2	1	
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-3 0 仕上り厚 100m m	m2		401		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生クラッシュ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4 m以上 舗装厚 40 mm	m2		401		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以 下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m 3未満);	m 2	1	
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
フィルター層 (夜間)	砂(クッション用) 仕上 り厚 50mm	m2		41		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	m 2	1		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生クラッシュ RC-4 0 仕上り厚 150m m	m2		41		< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生クラッシュ ン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
表層 (夜間)	透水性As 1.4m 以上 舗装厚 50m m	m2		41		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以 下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m 3未満);	m 2	1		
縁石工		式		1						
縁石工		式		1						
歩車道境界ブロック 縁石工A(夜間)	C種(180/210×300 ×600)	m		40		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=C種(180/210×300×600 ); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不 要;	m	1		
歩車道境界ブロック 縁石工C(夜間)	B種(180/205×250 ×600)	m		16		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=B種(180/205×250×600 ); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不 要;	m	1		
歩車道境界ブロック 縁石工D(L)(夜間)	C種(180/210×300 ×600)	m		1		歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=C種(180/210×300×600 ); 基礎碎石の有無=有り; 均し基礎コンクリート規格=不 要;	m	1		



# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
歩車道境界ブロック 緑石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300 ×600)	m		2		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=C種(180/210×300×600) ；基礎碎石の有無=有り；均し基礎コンクリート規格=不要；	m	1	
道路付属施設工		式		1					
照明工		式		1					
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.372	
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.641	
照明柱基礎 4号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.69	
照明柱 R-20(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
照明柱 R-21(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
照明柱 R-22(夜間)		基		1		照明柱 建柱	基	1	
構造物撤去工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
構造物取壊し工		式		1					
舗装版破砕 (夜間)	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		730		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版； 障害等の有無=無し； 騒音振動対策=必要； 舗装版厚=15cm以下； 積込作業の有無=有り； 費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
運搬処理工		式		1					
殻運搬 (夜間)	アスファルト殻	m3		32		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕； 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要)； DID区間の有無=有り； 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下； 費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3		32		< 1 m3当り > 処分費 (m 3)	m 3	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） <span style="float: right;">（ 当 初 ）</span>					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
仮設材運搬費		t		194.7		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力) )=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み、取卸し費 作業区分=積込み、取卸し(片道分)；	t	1	
準備費		式		1					
試掘		箇所		3		< 1 箇所当り > 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=現場制約あり； 埋戻し 施工方法=現場制約あり；土質区分=土砂；締固めの 有無=有り； 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生クラッシュ RC-40；費用の内訳=全ての費用； 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種 類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 3	3.285	
技術管理費		式		1					
道路施設基本データ作成費用		式		1		道路施設基本データ作成費用	式	1	
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地			

# 見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；除雪工補正=補正無；週休2日の補正=しない			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休2日の補正=しない			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

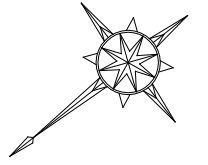
# 見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象	管理費区分7 間接労務費対象労務費					
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名	安来電線共同溝PFI事業（5工区）（当初）				事業区分	共同溝・電線共同溝			
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3	46	○					
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	m3	32	○					
道路施設基本データ作成費用		式	1					○	

平面図(1)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m



車道舗装(A)

下層路盤(RC-40 t=200)	A= 342m <sup>2</sup>
上層路盤(M-40 t=150)	A= 346m <sup>2</sup>
上層路盤(再生As安定処理(30) t=80)	A= 346m <sup>2</sup>
基層(再生粗粒Asポリマー改質I型(20) t=50)	A= 346m <sup>2</sup>
表層(ポラスAs(13) t=50)	A= 346m <sup>2</sup>

歩道舗装(A)

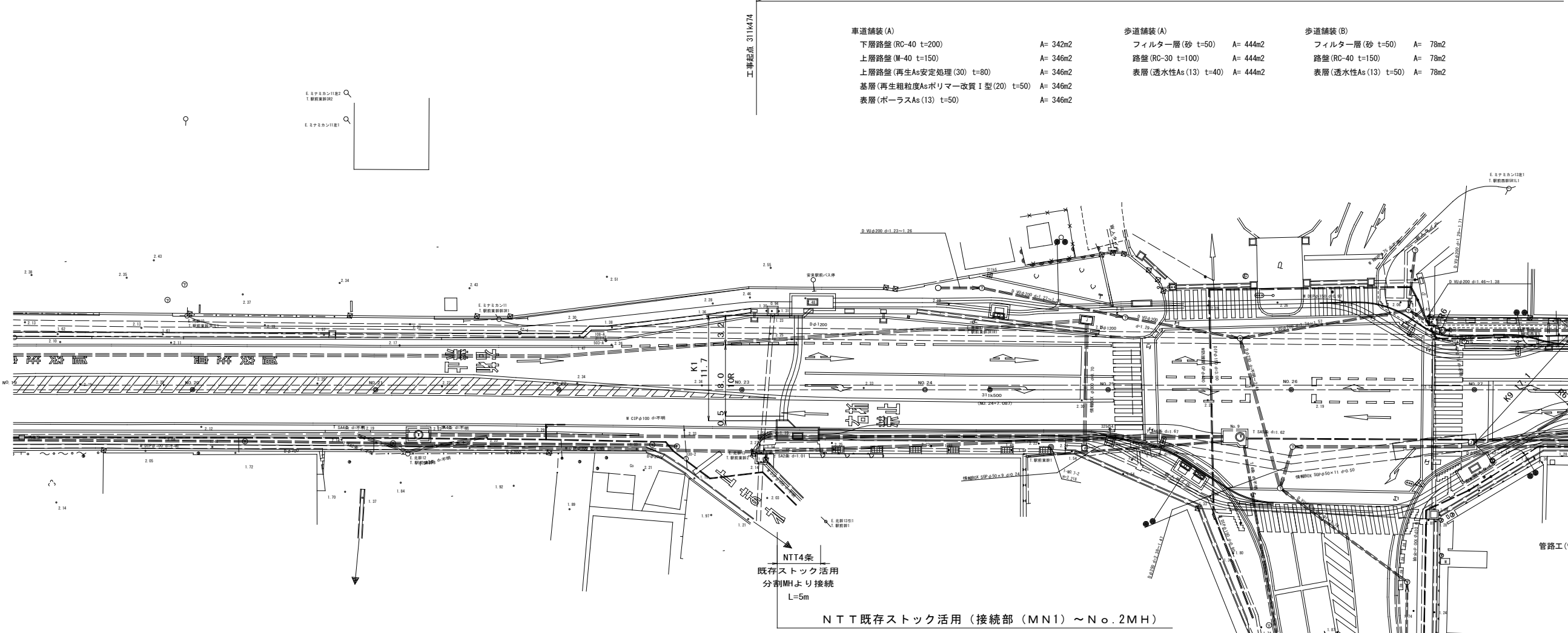
フィルター層(砂 t=50)	A= 444m <sup>2</sup>
路盤(RC-30 t=100)	A= 444m <sup>2</sup>
表層(透水性As(13) t=40)	A= 444m <sup>2</sup>

歩道舗装(B)

フィルター層(砂 t=50)	A= 78m <sup>2</sup>
路盤(RC-40 t=150)	A= 78m <sup>2</sup>
表層(透水性As(13) t=50)	A= 78m <sup>2</sup>

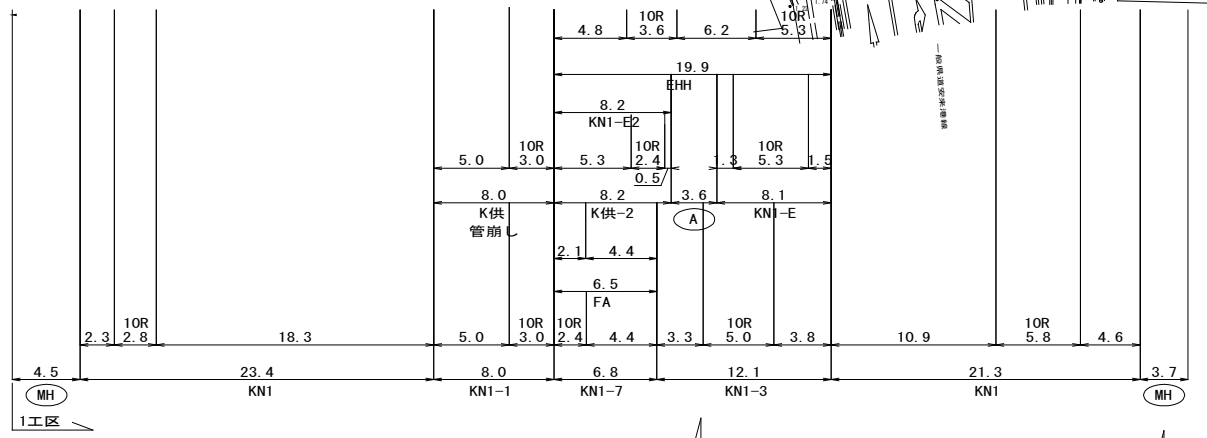
【既設占用物件】

上水	W	-----
汚水	D	-----
NTT	T	-----
エネルギーコミュニケーション	F	-----
情報BOX	J	-----
移設情報BOX	J	-----



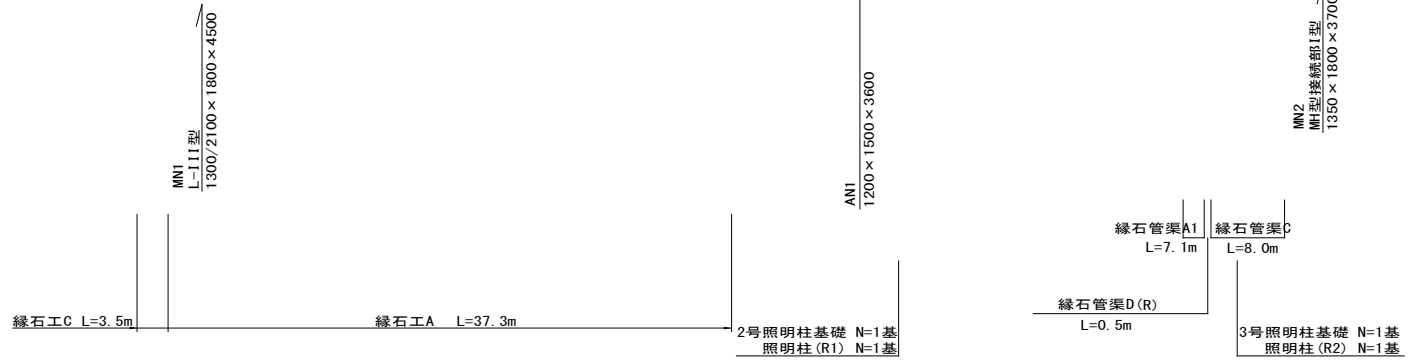
NTT4条  
既存ストック活用  
分割MHより接続  
L=5m

NTT既存ストック活用(接続部(MN1)~No.2MH)



管路工(管路部)

埋設管路 (HIVP管 直管 径 125mm)	L= 496.2 m
埋設管路 (HIVP管 直管 径 100mm)	L= 488.1 m
埋設管路 (PV管 直管 径 75mm)	L= 539.8 m
埋設管路 (PV管 直管 径 50mm)	L= 148.7 m
埋設管路 (VP管 直管 径 100mm)	L= 120.8 m
埋設管路 (VP管 直管 径 150mm)	L= 125.8 m
埋設管路 (VP管 直管 径 250mm)	L= 115.6 m
埋設管路 (HIVP管 曲管(R10) 径 125mm)	L= 312.9 m
埋設管路 (HIVP管 曲管(R10) 径 100mm)	L= 350.5 m
埋設管路 (PV管 曲管(R10) 径 75mm)	L= 388.3 m
埋設管路 (PV管 曲管(R10) 径 50mm)	L= 133.2 m
埋設管路 (VP管 曲管(R10) 径 100mm)	L= 76.7 m
埋設管路 (VP管 曲管(R10) 径 150mm)	L= 69.4 m
埋設管路 (VP管 曲管(R10) 径 250mm)	L= 77.2 m
管路管台 (HIVP管用 φ100-150P)	N= 1,708 個
管路管台 (HIVP管用 φ100-150P)	N= 1,765 個
管路管台 (PV管用 φ75-130P)	N= 1,029 個
管路管台 (PV管用 φ50-95P)	N= 247 個
管路管台 (VP管用 φ100-150P)	N= 131 個
管路管台 (VP管用 φ150-220P)	N= 126 個
管路管台 (VP管用 φ250-350P)	N= 187 個
中間継手 (HIVP φ125用)	N= 16 個
中間継手 (HIVP φ100用)	N= 23 個
中間継手 (PV φ75用)	N= 26 個
中間継手 (PV φ50用)	N= 11 個
中間継手 (VP φ100用)	N= 7 個
中間継手 (VP φ150用)	N= 4 個
中間継手 (VP φ250用)	N= 4 個
鞘管固定管(起点用) (VP管 φ250用)	N= 5 個
鞘管固定管(終点用) (VP管 φ250用)	N= 4 個
埋設表示シート (W=300 2倍)	L= 710.8 m
情報ボックス	N= 1 箇所
管路工(管路部)	
埋設管路 (合成樹脂製 径 300mm)	L= 130.8 m
埋設管路 (鋼製 径 50mm)	L= 100.0 m
埋設表示シート (W=300 2倍)	L= 130.8 m
管路防護工	
防護シールド	N= 1 箇所

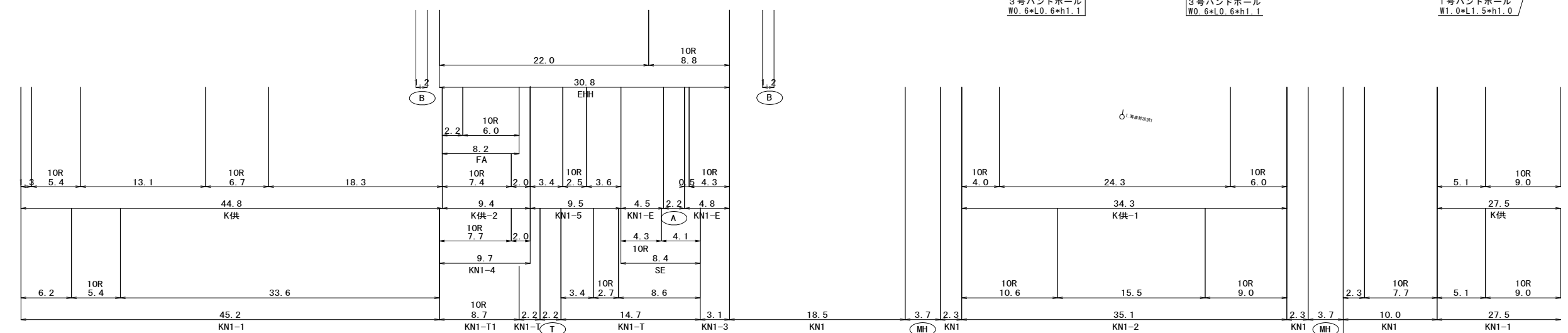
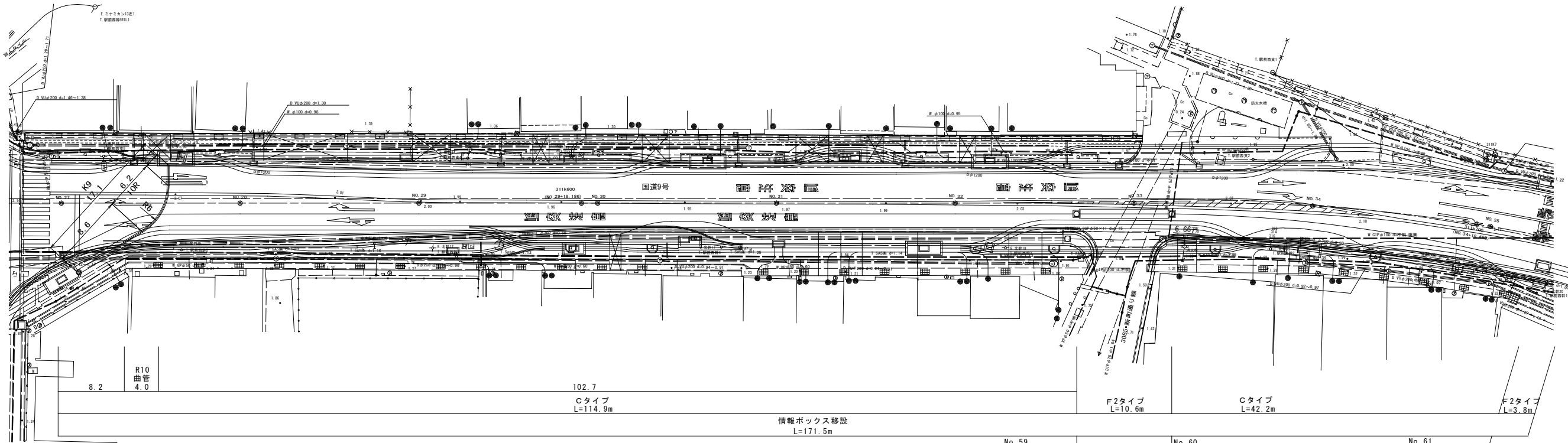
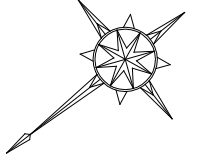


工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	2 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(2)

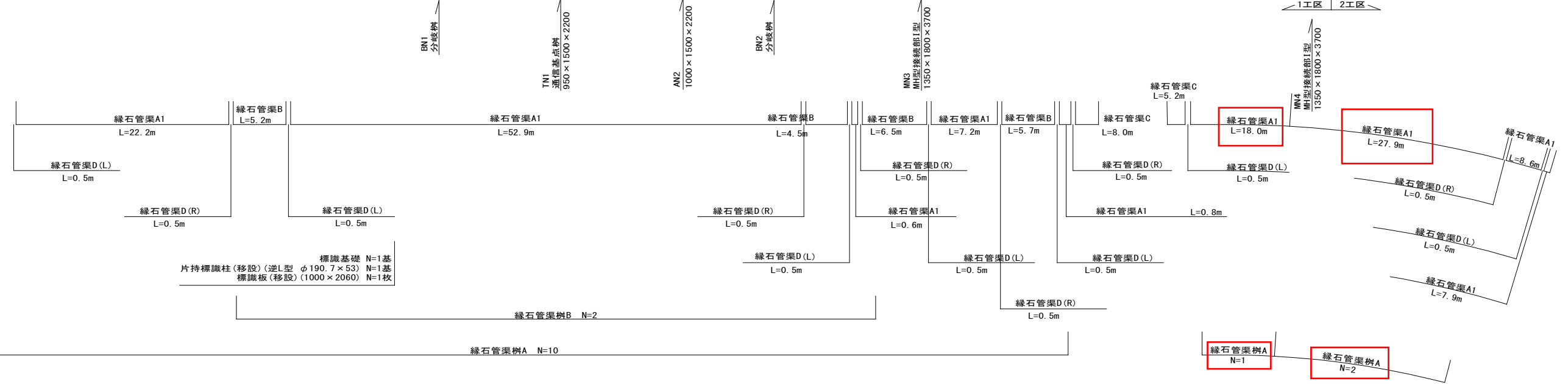
S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m



【既設占用物件】

上水	W	-----
汚水	D	-----
NTT	T	-----
エネルギーコミュニケーション	F	-----
情報BOX	J	-----



標識基礎 N=1基  
片持標識柱(移設)(逆L型 φ190.7×53) N=1基  
標識板(移設)(1000×2060) N=1枚

緑石管渠樹B N=2

緑石管渠樹A N=10

緑石管渠樹A N=1

緑石管渠樹A N=2

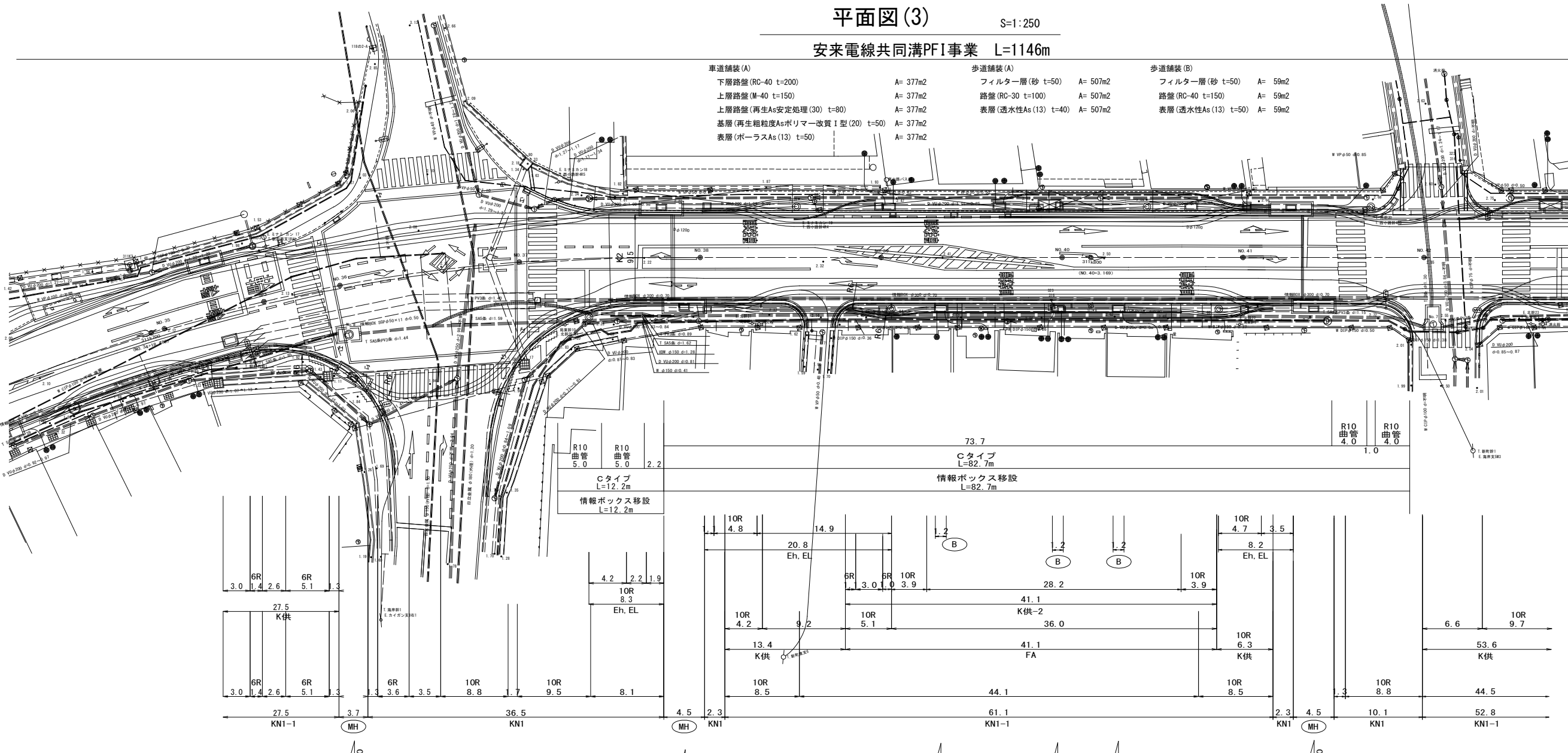
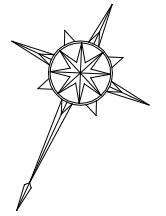
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(2)		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	3/78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(3)

S=1:250

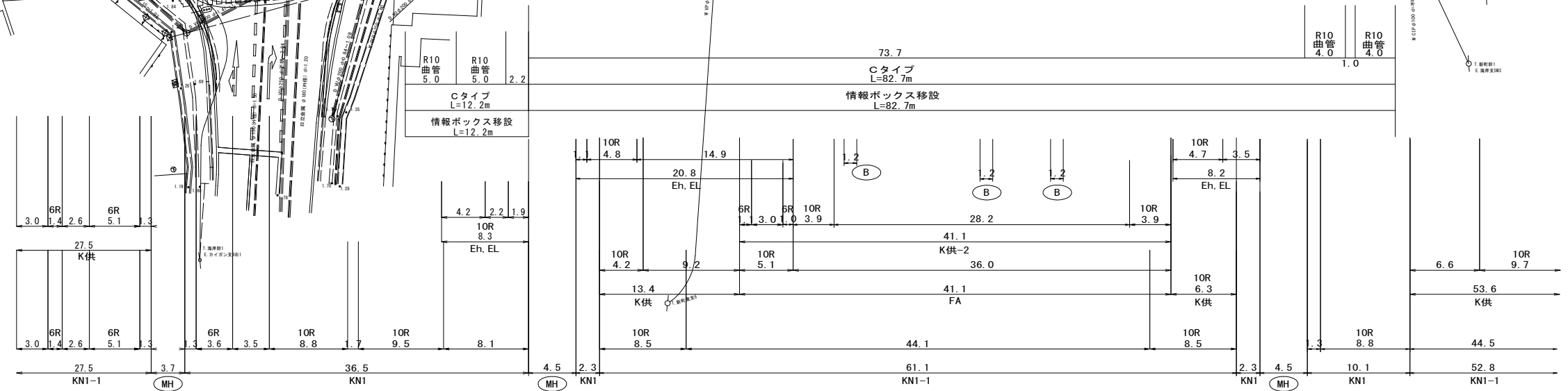
安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

車道舗装(A)		歩道舗装(A)		歩道舗装(B)	
下層路盤(RC-40 t=200)	A= 377m <sup>2</sup>	フィルター層(砂 t=50)	A= 507m <sup>2</sup>	フィルター層(砂 t=50)	A= 59m <sup>2</sup>
上層路盤(M-40 t=150)	A= 377m <sup>2</sup>	路盤(RC-30 t=100)	A= 507m <sup>2</sup>	路盤(RC-40 t=150)	A= 59m <sup>2</sup>
上層路盤(再生As安定処理(30) t=80)	A= 377m <sup>2</sup>	表層(透水性As(13) t=40)	A= 507m <sup>2</sup>	表層(透水性As(13) t=50)	A= 59m <sup>2</sup>
基層(再生粗粒度Asポリマー改質I型(20) t=50)	A= 377m <sup>2</sup>				
表層(ポーラスAs(13) t=50)	A= 377m <sup>2</sup>				



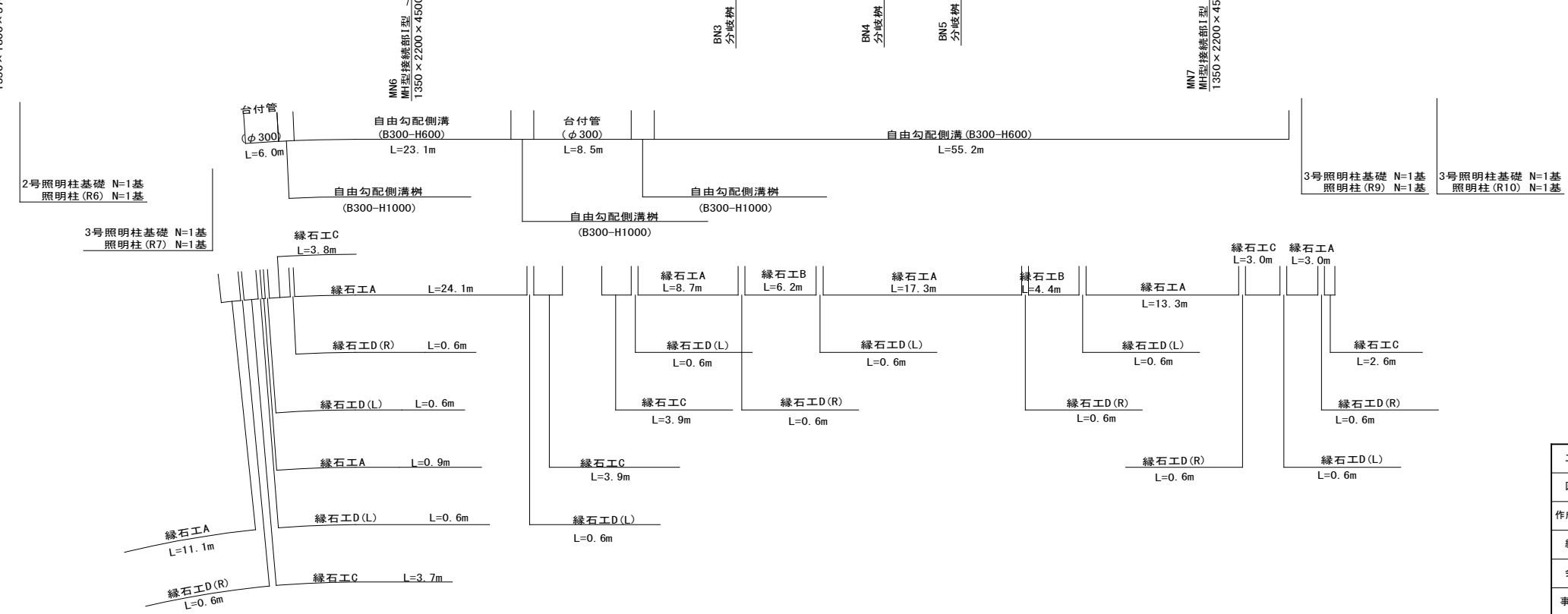
【既設占用物件】

上水	W	---
汚水	D	---
NTT	T	---
近畿キヤクコミュニケーション	F	---
情報BOX	J	---
移設情報BOX	J	---



管路工(管路部)

埋設管路 (HIVP管 直管 径 125mm)	L= 360.8m
埋設管路 (HIVP管 直管 径 100mm)	L= 308.9m
埋設管路 (PV管 直管 径 75mm)	L= 436.8m
埋設管路 (PV管 直管 径 50mm)	L= 194.7m
埋設管路 (VP管 直管 径 100mm)	L= 60.8m
埋設管路 (VP管 直管 径 150mm)	L= 72.5m
埋設管路 (VP管 直管 径 250mm)	L= 84.3m
埋設管路 (HIVP管 曲管(R10) 径 125mm)	L= 418.4m
埋設管路 (HIVP管 曲管(R10) 径 100mm)	L= 433.6m
埋設管路 (PV管 曲管(R10) 径 75mm)	L= 418.4m
埋設管路 (PV管 曲管(R10) 径 50mm)	L= 104.6m
埋設管路 (VP管 曲管(R10) 径 100mm)	L= 105.3m
埋設管路 (VP管 曲管(R10) 径 150mm)	L= 116.4m
埋設管路 (VP管 曲管(R10) 径 250mm)	L= 104.6m
埋設管路 (HIVP管 曲管(R6) 径 125mm)	L= 40.4m
埋設管路 (HIVP管 曲管(R6) 径 100mm)	L= 71.9m
埋設管路 (PV管 曲管(R6) 径 75mm)	L= 40.4m
埋設管路 (PV管 曲管(R6) 径 50mm)	L= 10.1m
埋設管路 (VP管 曲管(R6) 径 100mm)	L= 33.1m
埋設管路 (VP管 曲管(R6) 径 150mm)	L= 16.5m
埋設管路 (VP管 曲管(R6) 径 250mm)	L= 10.1m
管路管台 (HIVP管用 φ125-250P)	N= 1,919個
管路管台 (HIVP管用 φ100-150P)	N= 1,962個
管路管台 (PV管用 φ75-130P)	N= 1,106個
管路管台 (PV管用 φ50-95P)	N= 210個
管路管台 (VP管用 φ100-150P)	N= 165個
管路管台 (VP管用 φ150-220P)	N= 165個
管路管台 (VP管用 φ250-350P)	N= 204個
中間継手 (HIVP φ125用)	N= 16個
中間継手 (HIVP φ100用)	N= 21個
中間継手 (PV φ75用)	N= 24個
中間継手 (PV φ50用)	N= 15個
中間継手 (VP φ100用)	N= 9個
中間継手 (VP φ150用)	N= 4個
中間継手 (VP φ250用)	N= 2個
幹管固定管(起点用) (VP管 φ250用)	N= 3個
幹管固定管(終点用) (VP管 φ250用)	N= 2個
埋設表示シート (W=300 2倍)	L= 742.5m
情報ボックス	N= 1箇所
管路工(管路部)	
埋設管路 (合成樹脂製 径 300mm)	L= 163.5m
埋設管路 (鋼製 径 50mm)	L= 31.0m
埋設表示シート (W=300 2倍)	L= 163.5m
管路防護工	
防護コンクリート	N= 1箇所



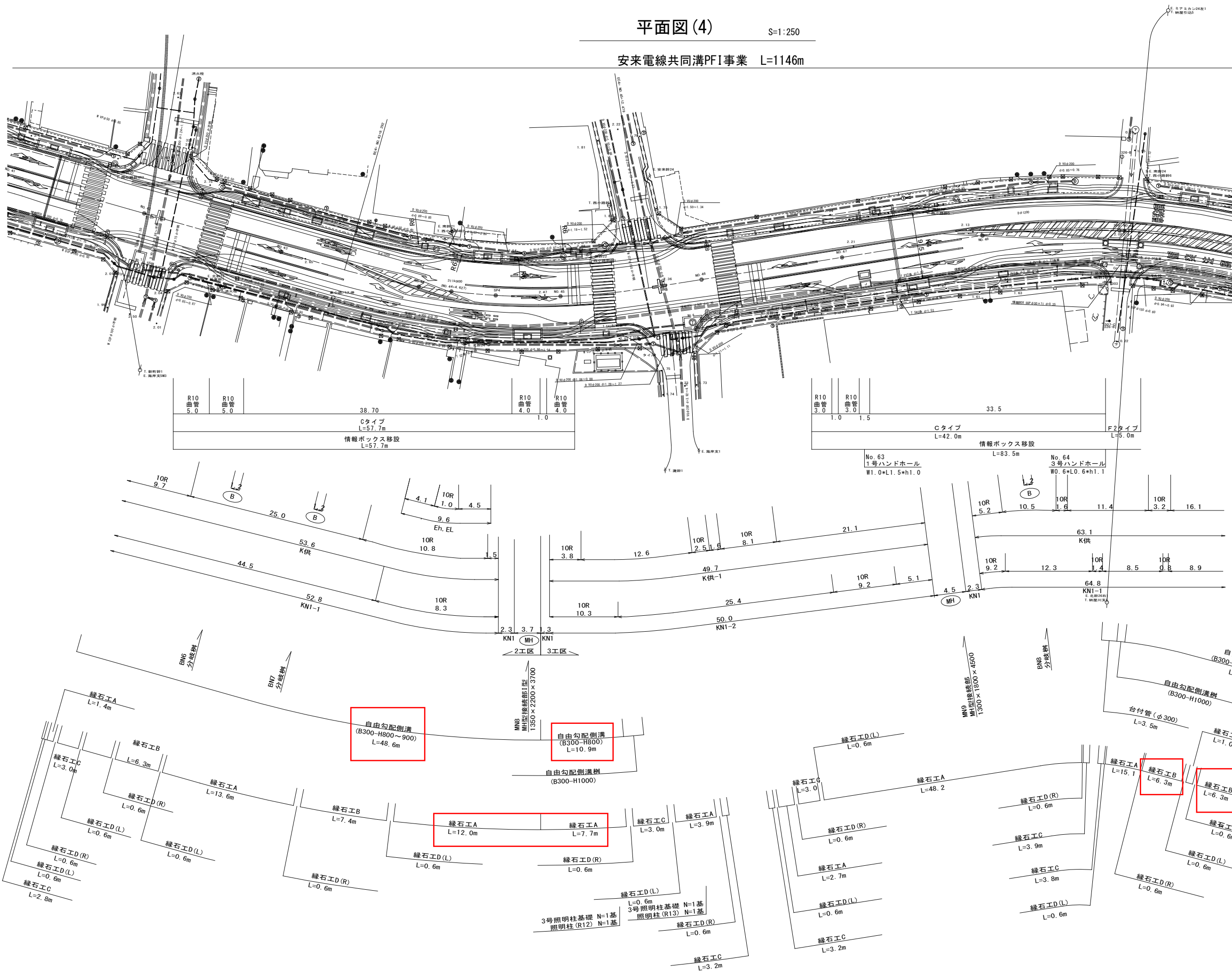
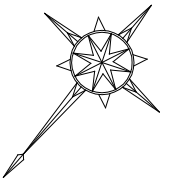
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(3)		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	4/78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		



平面図(4)

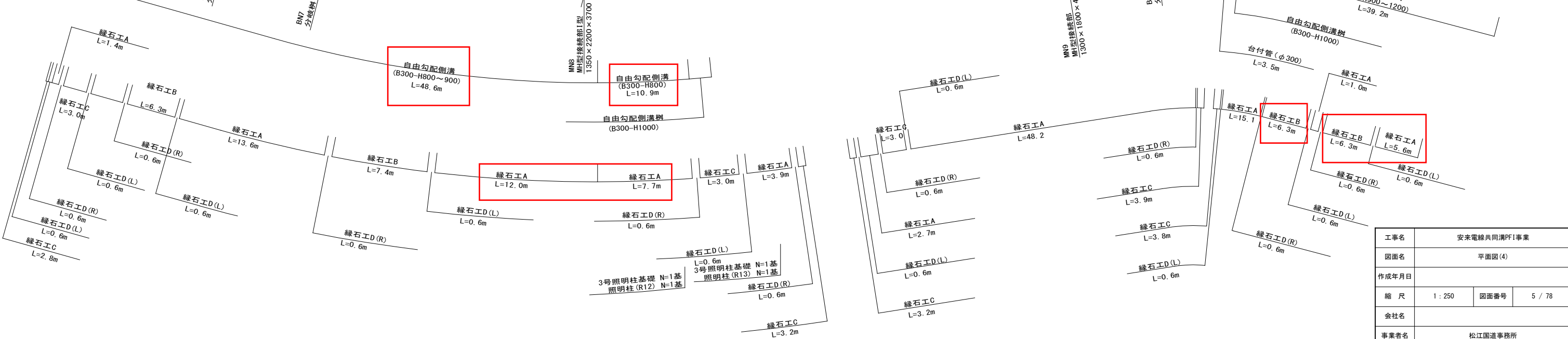
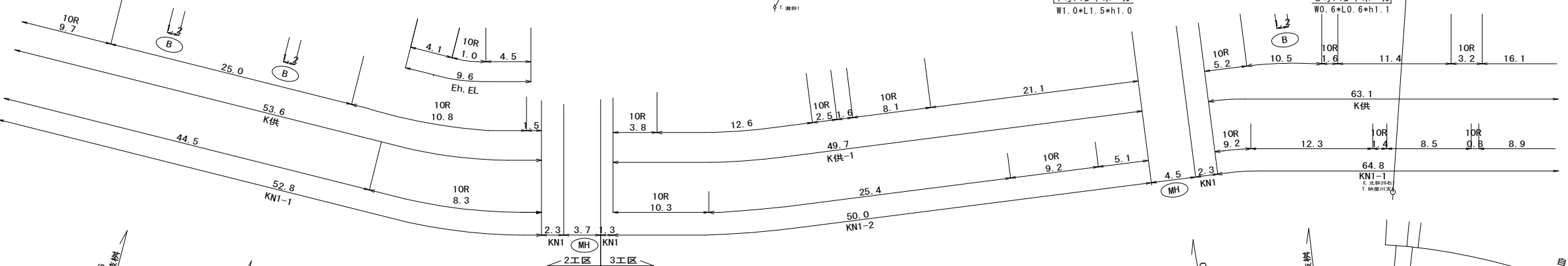
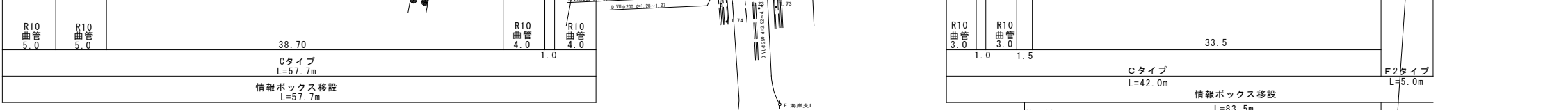
S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m



【既設占用物件】

上水	W	-----
汚水	D	-----
NTT	T	-----
エネルギーコミュニケーション	F	-----
情報BOX	J	-----
移設情報BOX	J	-----

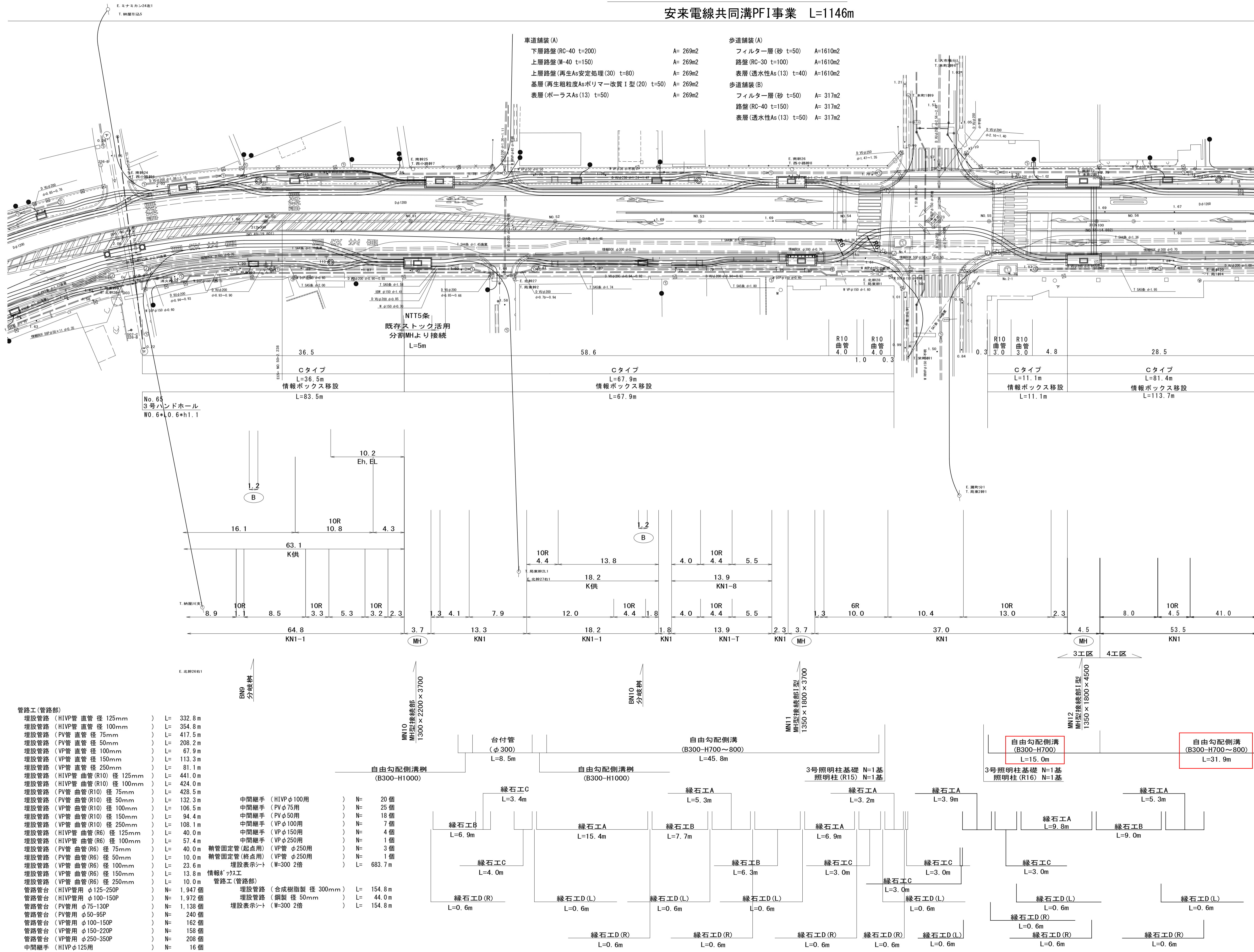
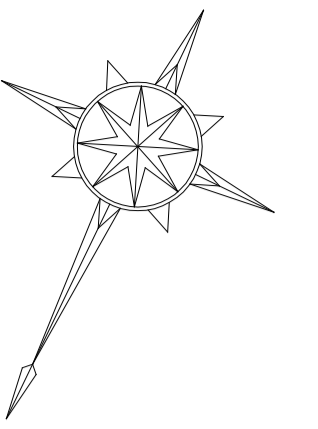


工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(4)		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	5 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(5)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m



- |  |  |
|--|--|
| 車道舗装(A)<br>下層路盤(RC-40 t=200) A= 269m <sup>2</sup><br>上層路盤(M-40 t=150) A= 269m <sup>2</sup><br>上層路盤(再生As安定処理(30) t=80) A= 269m <sup>2</sup><br>基層(再生粗粒Asポリマー改質I型(20) t=50) A= 269m <sup>2</sup><br>表層(ポーラスAs(13) t=50) A= 269m <sup>2</sup> | 歩道舗装(A)<br>フィルター層(砂 t=50) A=1610m <sup>2</sup><br>路盤(RC-30 t=100) A=1610m <sup>2</sup><br>表層(透水性As(13) t=40) A=1610m <sup>2</sup><br>歩道舗装(B)<br>フィルター層(砂 t=50) A= 317m <sup>2</sup><br>路盤(RC-40 t=150) A= 317m <sup>2</sup><br>表層(透水性As(13) t=50) A= 317m <sup>2</sup> |
|--|--|

【既設占用物件】

上水	W	
汚水	D	
NTT	T	
エネルギーコミュニケーション	F	
情報BOX	J	
移設情報BOX	J	

管路工(管路部)

埋設管路(HIVP管 直管 径 125mm)	L= 332.8m
埋設管路(HIVP管 直管 径 100mm)	L= 354.8m
埋設管路(PV管 直管 径 75mm)	L= 417.5m
埋設管路(PV管 直管 径 50mm)	L= 208.2m
埋設管路(VP管 直管 径 100mm)	L= 67.9m
埋設管路(VP管 直管 径 150mm)	L= 113.3m
埋設管路(VP管 直管 径 250mm)	L= 81.1m
埋設管路(HIVP管 曲管(R10) 径 125mm)	L= 441.0m
埋設管路(HIVP管 曲管(R10) 径 100mm)	L= 424.0m
埋設管路(PV管 曲管(R10) 径 75mm)	L= 428.5m
埋設管路(PV管 曲管(R10) 径 50mm)	L= 132.3m
埋設管路(VP管 曲管(R10) 径 100mm)	L= 106.5m
埋設管路(VP管 曲管(R10) 径 150mm)	L= 94.4m
埋設管路(VP管 曲管(R10) 径 250mm)	L= 108.1m
埋設管路(HIVP管 曲管(R6) 径 125mm)	L= 40.0m
埋設管路(HIVP管 曲管(R6) 径 100mm)	L= 57.4m
埋設管路(PV管 曲管(R6) 径 75mm)	L= 40.0m
埋設管路(PV管 曲管(R6) 径 50mm)	L= 10.0m
埋設管路(VP管 曲管(R6) 径 100mm)	L= 23.6m
埋設管路(VP管 曲管(R6) 径 150mm)	L= 13.8m
埋設管路(VP管 曲管(R6) 径 250mm)	L= 10.0m
管路管台(HIVP管用 φ125-250P)	N= 1,947個
管路管台(HIVP管用 φ100-150P)	N= 1,972個
管路管台(PV管用 φ75-130P)	N= 1,138個
管路管台(PV管用 φ50-95P)	N= 240個
管路管台(VP管用 φ100-150P)	N= 162個
管路管台(VP管用 φ150-220P)	N= 158個
管路管台(VP管用 φ250-350P)	N= 208個
中間継手(HIVP φ125用)	N= 16個

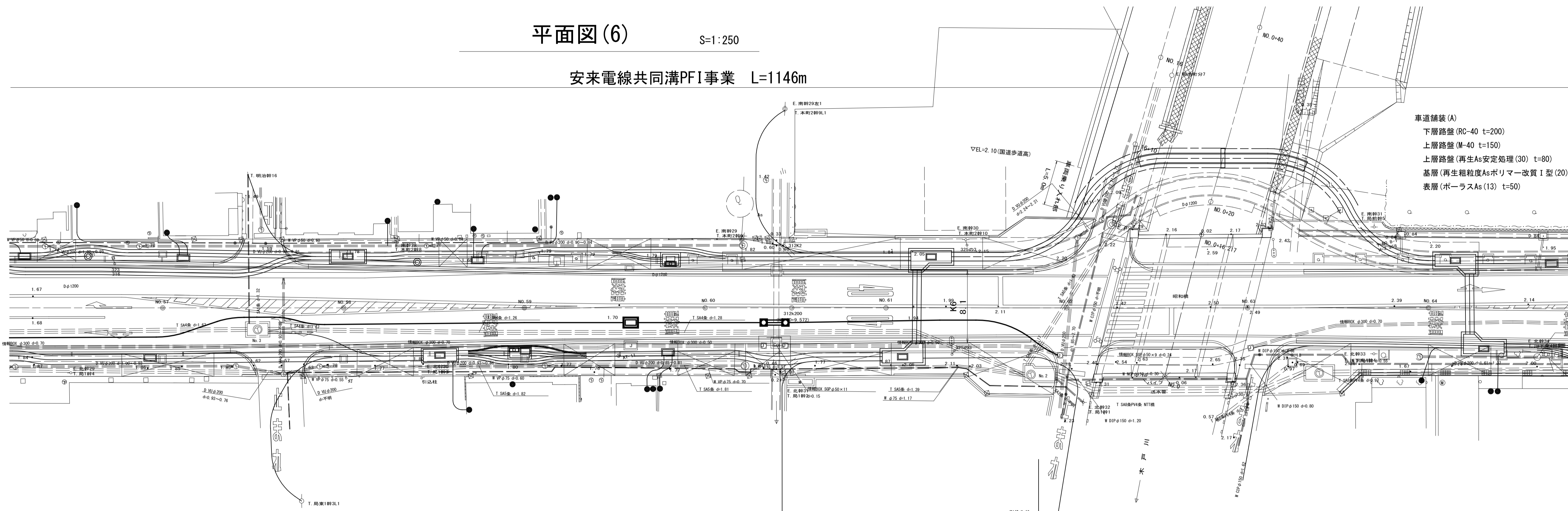
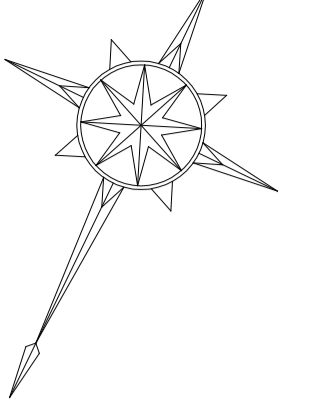
情報ボックス工

埋設管路(合成樹脂製 径 300mm)	L= 154.8m
埋設管路(鋼製 径 50mm)	L= 44.0m
埋設表示シート(W=300 2倍)	L= 154.8m
情報ボックス工	
埋設表示シート(W=300 2倍)	L= 683.7m

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(5)		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	6 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(6) S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

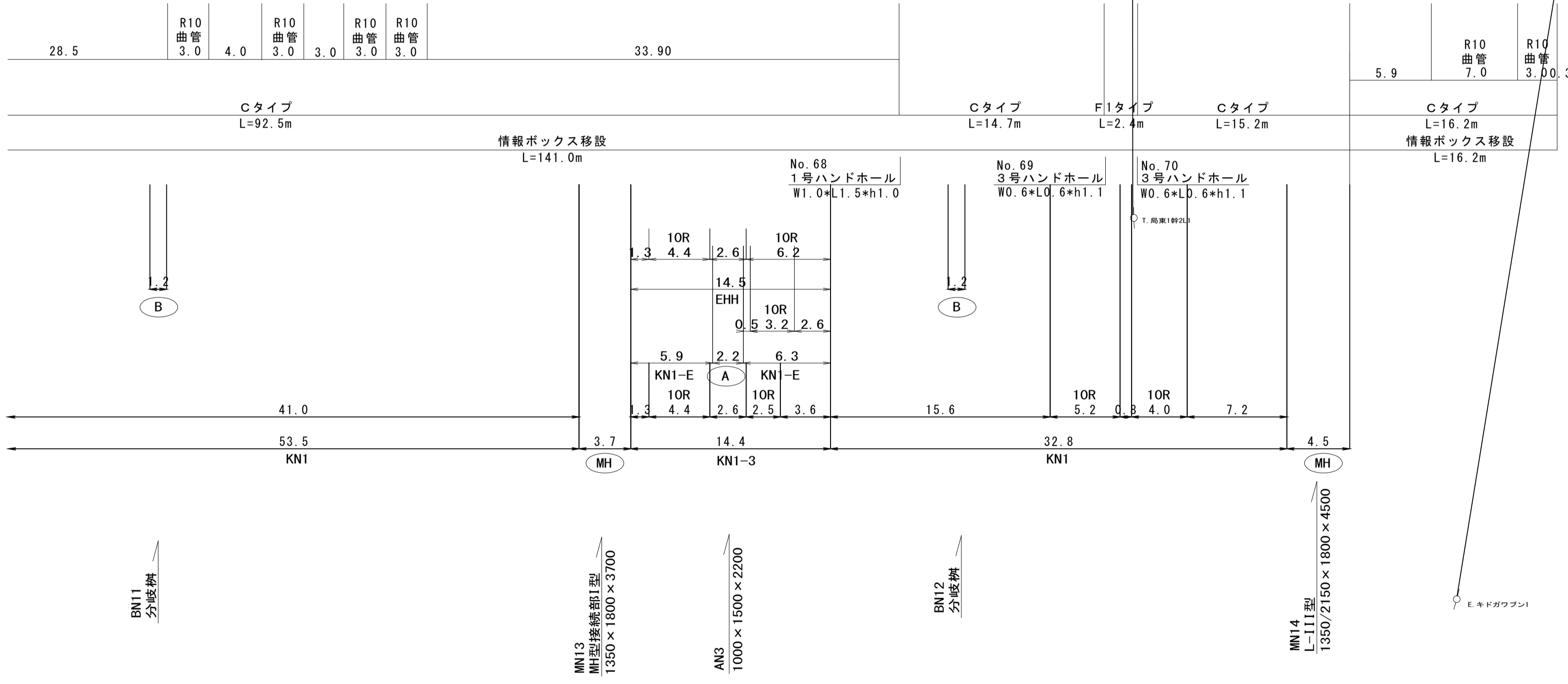


- 車道舗装(A)  
 下層路盤(RC-40 t=200)  
 上層路盤(M-40 t=150)  
 上層路盤(再生As安定処理(30) t=80)  
 基層(再生粗粒度Asポリマー改質I型(20) t=50)  
 表層(ポーラスAs(13) t=50)
- 歩道舗装(A)  
 フィルター層(砂 t=50)  
 路盤(RC-30 t=100)  
 表層(透水性As(13) t=40)  
 歩道舗装(B)  
 フィルター層(砂 t=50)  
 路盤(RC-40 t=150)  
 表層(透水性As(13) t=50)
- A= 380m2  
 A= 380m2  
 A= 380m2  
 A= 380m2  
 A= 380m2
- A= 533m2  
 A= 533m2  
 A= 533m2  
 A= 312m2  
 A= 312m2  
 A= 312m2

【既設占用物件】

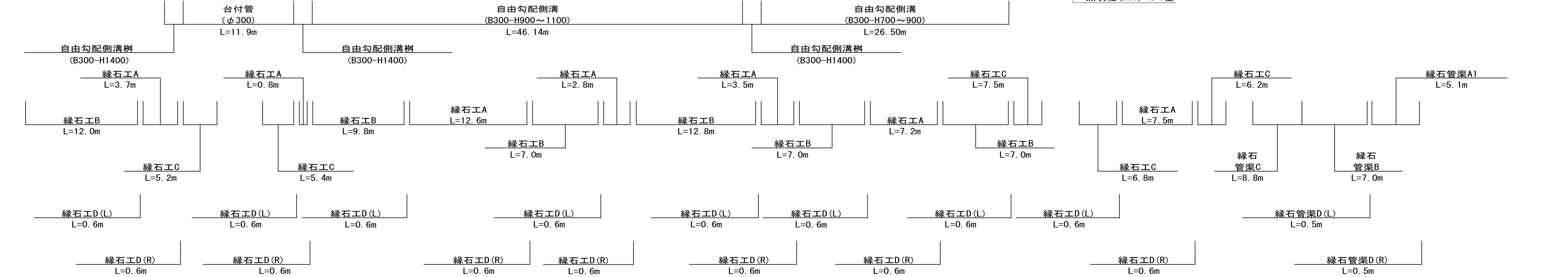
上水	W	---
汚水	D	---
NTT	F	---
エネルギーコミュニケーション	T	---
情報BOX	J	---
移設情報BOX	J	---

NTT既存ストック活用(接続部(MN1)~No.2MH)



- 管路工(管路部)
- 埋設管路(HIVP管 直管 径125mm) L= 489.6m
  - 埋設管路(HIVP管 直管 径100mm) L= 449.2m
  - 埋設管路(PV管 直管 径75mm) L= 514.2m
  - 埋設管路(PV管 直管 径50mm) L= 323.0m
  - 埋設管路(VP管 直管 径100mm) L= 105.2m
  - 埋設管路(VP管 直管 径150mm) L= 108.6m
  - 埋設管路(VP管 直管 径250mm) L= 89.3m
  - 埋設管路(HIVP管 曲管(R10) 径125mm) L= 484.0m
  - 埋設管路(HIVP管 曲管(R10) 径100mm) L= 509.3m
  - 埋設管路(PV管 曲管(R10) 径75mm) L= 512.5m
  - 埋設管路(PV管 曲管(R10) 径50mm) L= 176.8m
  - 埋設管路(VP管 曲管(R10) 径100mm) L= 126.2m
  - 埋設管路(VP管 曲管(R10) 径150mm) L= 123.0m
  - 埋設管路(VP管 曲管(R10) 径250mm) L= 130.3m
  - 埋設管路(HIVP管 曲管(R6) 径100mm) L= 5.6m
  - 埋設管路(VP管 曲管(R6) 径100mm) L= 5.6m
  - 管路管台(HIVP管用 φ125-250P) N= 2239.0個
  - 管路管台(HIVP管用 φ100-150P) N= 2081.0個
  - 管路管台(PV管用 φ75-130P) N= 1256.0個
  - 管路管台(PV管用 φ50-95P) N= 368.0個
  - 管路管台(VP管用 φ100-150P) N= 178.0個
  - 管路管台(VP管用 φ150-220P) N= 174.0個
  - 管路管台(VP管用 φ250-350P) N= 312.0個
  - 中間継手(HIVP φ125用) N= 32.0個
  - 中間継手(HIVP φ100用) N= 36.0個
  - 中間継手(PV φ75用) N= 37.0個
  - 中間継手(PV φ50用) N= 32.0個
  - 中間継手(VP φ100用) N= 11.0個
  - 中間継手(VP φ150用) N= 5.0個
  - 中間継手(VP φ250用) N= 5.0個
  - 精管固定管(起点用) (VP管 φ250用) N= 5.0個
  - 精管固定管(終点用) (VP管 φ250用) N= 5.0個
  - 埋設表示シート (W=300 2倍) L= 811.8m
- 情報ボックス工
- 管路工(管路部) (合成樹脂製 径300mm) L= 125.1m
  - 埋設管路 (鋼製 径50mm) L= 18.0m
  - 埋設表示シート (W=300 2倍) L= 125.1m
- 管路防護工
- 防護コンクリート N= 1箇所

4号照明柱基礎 N=1基  
 照明柱(R17) N=1基

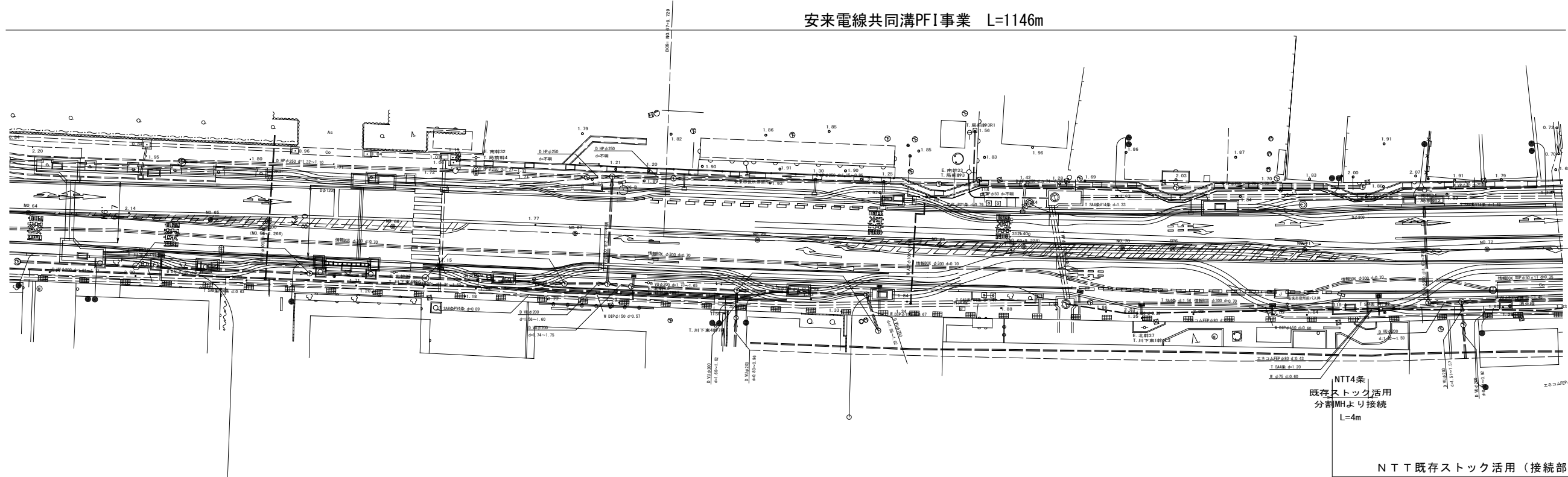
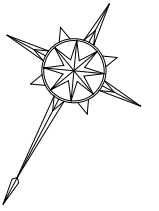


工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(6)		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	7/78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(7)

S=1:250

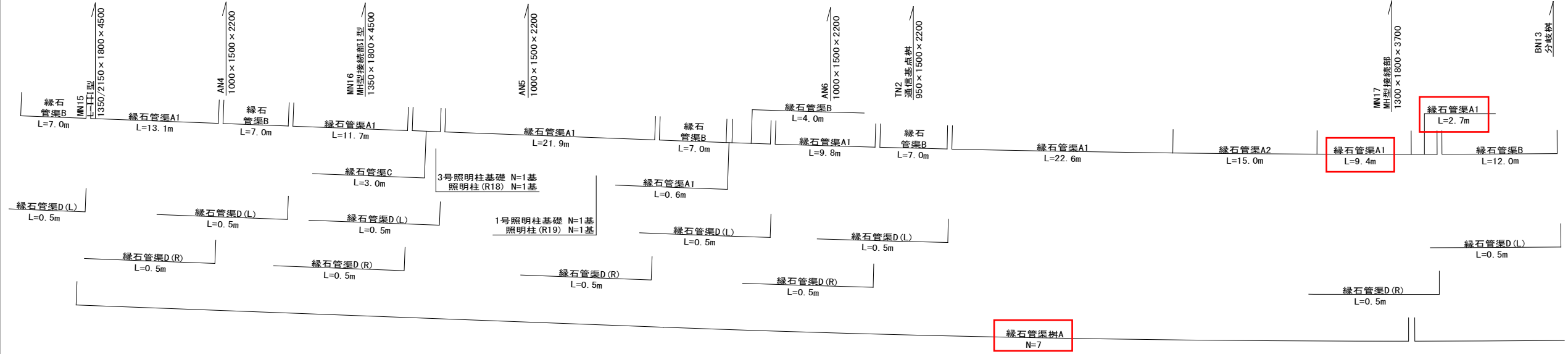
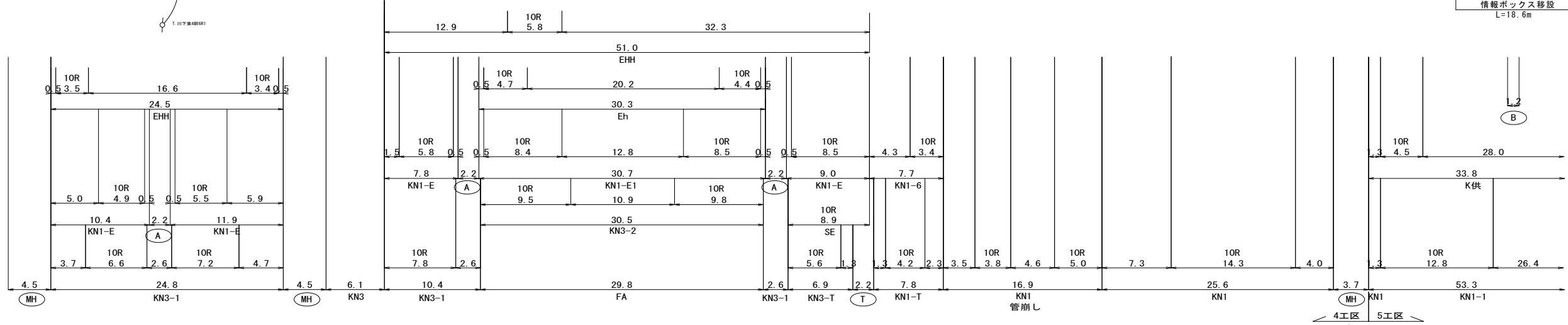
安来電線共同溝PFI事業 L=1146m



【既設占用物件】

上水	W	-----
汚水	D	-----
NTT	T	-----
エネルギーコミュニケーション	F	-----
情報BOX	J	-----
移設情報BOX	J	-----

Cタイプ	F2タイプ
L=4.6m	L=11.2m
情報ボックス移設	
L=18.6m	



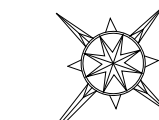
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(7)		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	8 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(8)

S=1:250

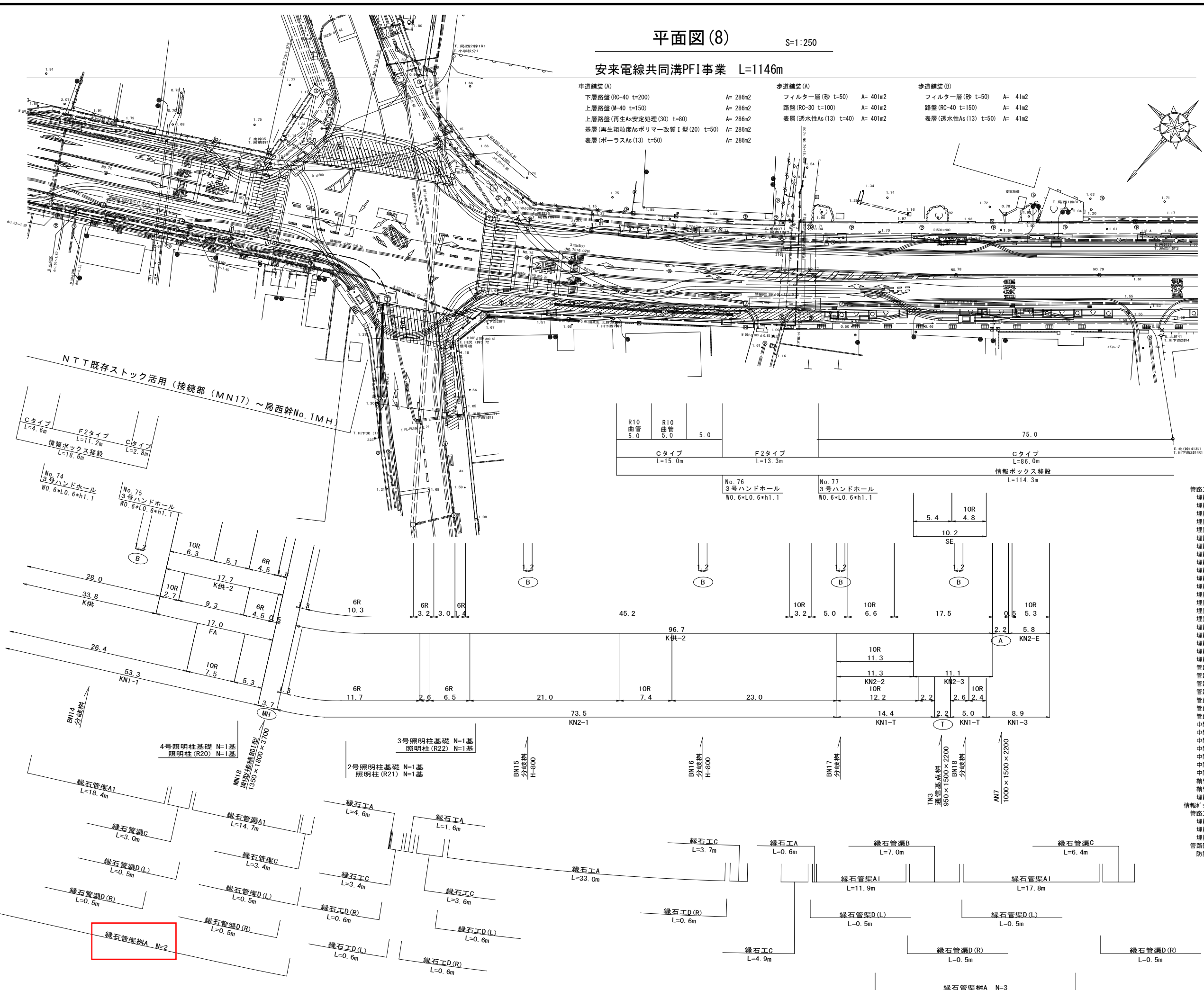
安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

車道舗装(A)	歩道舗装(A)	歩道舗装(B)
下層路盤(RC-40 t=200) A= 286m <sup>2</sup>	フィルター層(砂 t=50) A= 401m <sup>2</sup>	フィルター層(砂 t=50) A= 41m <sup>2</sup>
上層路盤(M-40 t=150) A= 286m <sup>2</sup>	路盤(RC-30 t=100) A= 401m <sup>2</sup>	路盤(RC-40 t=150) A= 41m <sup>2</sup>
上層路盤(再生As安定処理(30) t=80) A= 286m <sup>2</sup>	表層(透水性As(13) t=40) A= 401m <sup>2</sup>	表層(透水性As(13) t=50) A= 41m <sup>2</sup>
基層(再生粗粒度Asポリマー改質I型(20) t=50) A= 286m <sup>2</sup>		
表層(ポーラスAs(13) t=50) A= 286m <sup>2</sup>		



【既設占用物件】

上水	W	---
汚水	D	---
NTT	T	---
エネルギーコミュニケーション	F	---
情報BOX	J	---
移設情報BOX	J	---

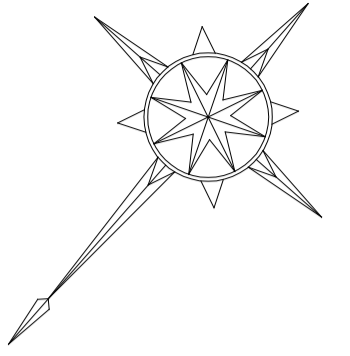


管路工(管路部)	(HIVP管 直管 径 125mm)	L= 376.4m
埋設管路	(HIVP管 直管 径 100mm)	L= 479.0m
埋設管路	(PV管 直管 径 75mm)	L= 521.6m
埋設管路	(PV管 直管 径 50mm)	L= 205.5m
埋設管路	(VP管 直管 径 100mm)	L= 94.8m
埋設管路	(VP管 直管 径 150mm)	L= 93.5m
埋設管路	(VP管 直管 径 250mm)	L= 125.1m
埋設管路	(HIVP管 曲管(R10) 径 125mm)	L= 238.0m
埋設管路	(HIVP管 曲管(R10) 径 100mm)	L= 334.8m
埋設管路	(PV管 曲管(R10) 径 75mm)	L= 357.2m
埋設管路	(PV管 曲管(R10) 径 50mm)	L= 158.3m
埋設管路	(VP管 曲管(R10) 径 100mm)	L= 62.2m
埋設管路	(VP管 曲管(R10) 径 150mm)	L= 79.5m
埋設管路	(VP管 曲管(R10) 径 250mm)	L= 75.0m
埋設管路	(HIVP管 曲管(R6) 径 125mm)	L= 36.4m
埋設管路	(HIVP管 曲管(R6) 径 100mm)	L= 89.2m
埋設管路	(PV管 曲管(R6) 径 75mm)	L= 54.6m
埋設管路	(PV管 曲管(R6) 径 50mm)	L= 18.2m
埋設管路	(VP管 曲管(R6) 径 100mm)	L= 33.4m
埋設管路	(VP管 曲管(R6) 径 150mm)	L= 22.7m
埋設管路	(VP管 曲管(R6) 径 250mm)	L= 18.2m
管路管台	(HIVP管用 φ125-250P)	N= 1,428個
管路管台	(HIVP管用 φ100-150P)	N= 1,737個
管路管台	(PV管用 φ75-130P)	N= 1,168個
管路管台	(PV管用 φ50-95P)	N= 316個
管路管台	(VP管用 φ100-150P)	N= 138個
管路管台	(VP管用 φ150-220P)	N= 146個
管路管台	(VP管用 φ250-350P)	N= 251個
中間継手	(HIVP φ125用)	N= 8個
中間継手	(HIVP φ100用)	N= 16個
中間継手	(PV φ75用)	N= 10個
中間継手	(PV φ50用)	N= 3個
中間継手	(VP φ100用)	N= 7個
中間継手	(VP φ150用)	N= 4個
中間継手	(VP φ250用)	N= 2個
納管固定管(起点用VP管 φ250用)		N= 2個
納管固定管(終点用VP管 φ250用)		N= 2個
埋設表示シート	(W=300 2倍)	L= 678.9m
管路工(管路部)	(合成樹脂製 径 300mm)	L= 107.2m
埋設管路	(鋼製 径 50mm)	L= 233.0m
埋設表示シート	(W=300 2倍)	L= 107.2m
管路防護工		N= 1箇所

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(8)		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	9/78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

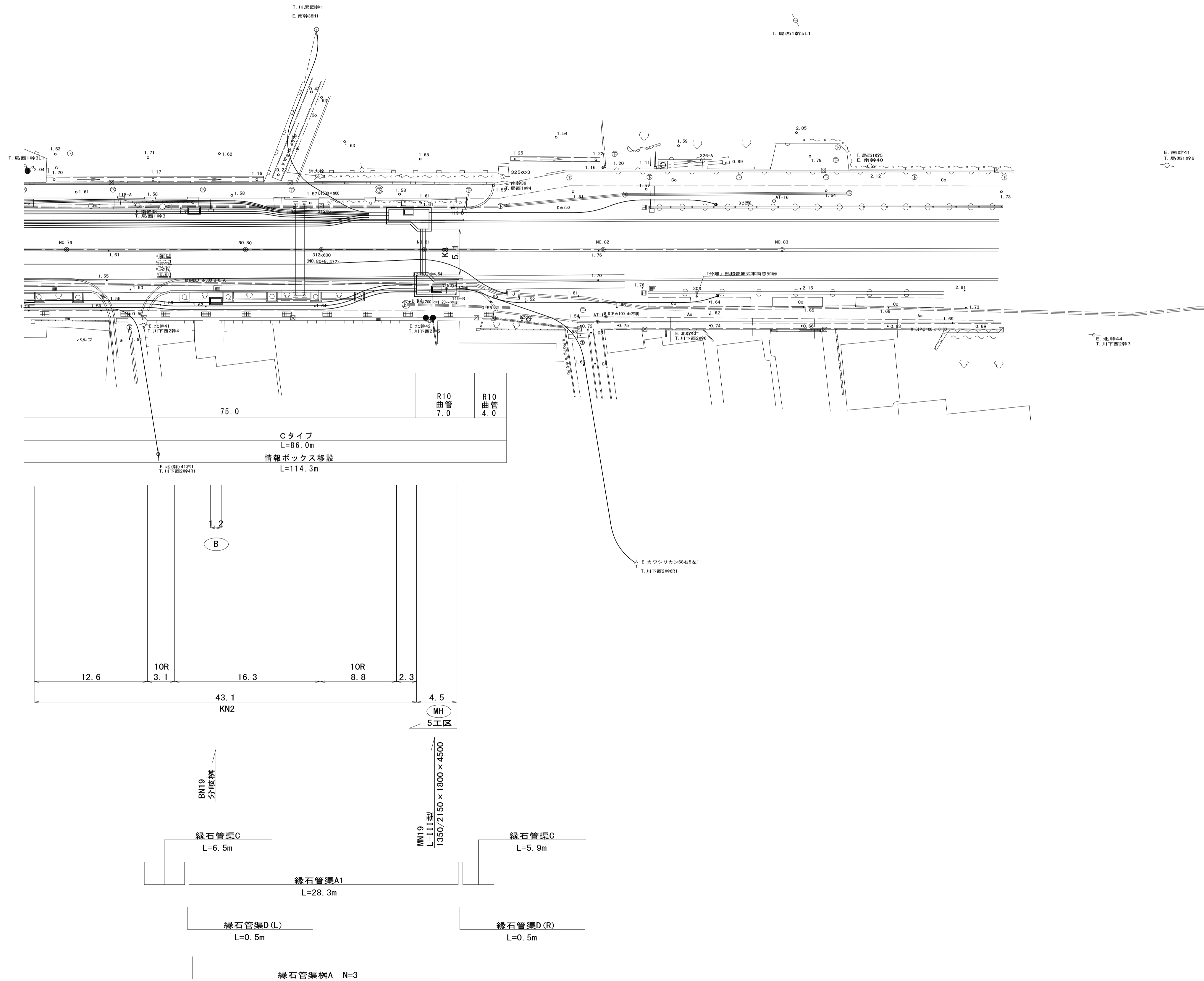
平面図(9)

S=1:250



安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

工事終点 3126820



【既設占用物件】

上水	W	-----
汚水	D	-----
NTT	T	-----
エネルギーコミュニケーション	F	-----
情報BOX	J	-----
移設情報BOX	J	-----

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(9)		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	10 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		